

伊奈町総合振興計画策定に係る 町民意識調査結果報告書

平成 25 年3月

伊奈町

【目次】

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査仕様	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II 調査結果	2
1 あなたご自身のことについておたずねします。	2
2 あなたの暮らしを取り巻く環境についておたずねします。	14
3 伊奈町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします。	25
4 まちづくりへの参加と協力についておたずねします。	42
III 自由回答	52
1 今後の伊奈町のまちづくりに対するお考えについて	52
2 協働に対するお考えについて	58
IV 総評	62
1 定住意向	62
2 都市基盤	62
3 自然環境	62
4 医療・福祉	62
5 産業	63
6 協働	63
7 行政運営	63
V 資料編	64
調査票	64

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 27 年度（2015 年度）からはじまる伊奈町総合振興計画の策定にあたり、身近な生活環境、防災・防犯、教育、介護・福祉対策など、様々な取り組みに対する町民の皆さまの評価及び今後のまちづくりに対する意向を把握するために実施しました。

2 調査仕様

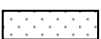
- ① 調査地域：伊奈町内
- ② 調査対象：伊奈町在住の 20 歳以上の方
- ③ 対象者数：1,500 人
- ④ 調査方法：郵送配布・回収など
- ⑤ 調査期間：平成 24 年 8 月 20 日～9 月 28 日

3 回収結果

- ① 配布数：1,500 票
- ② 有効回収数：836 票
- ③ 回収率：55.7%

4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の読み取り文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- クロス集計分析結果表の表中にある表記は以下の通りです。

：1 位回答 ：2 位回答

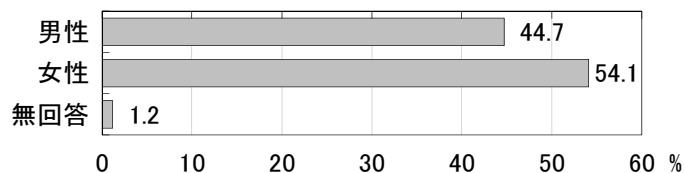
II 調査結果

1 あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

性別は、男性が44.7%、女性が54.1%となっています。

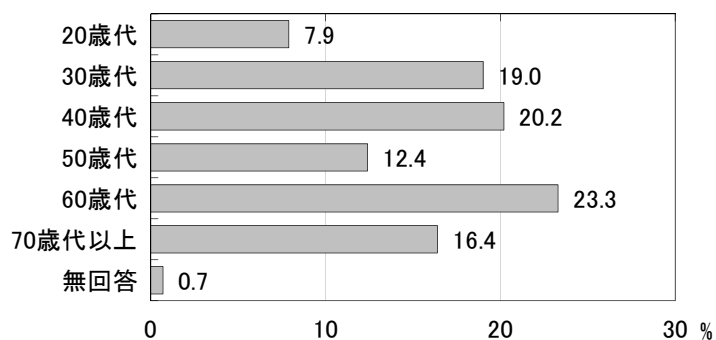
問1 (単数回答) n=836



問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。(○は1つ)

年齢は、「60 歳代」が23.3%と最も高く、次いで「40 歳代」が20.2%、「30 歳代」が19.0%となっています。

問2 (単数回答) n=836

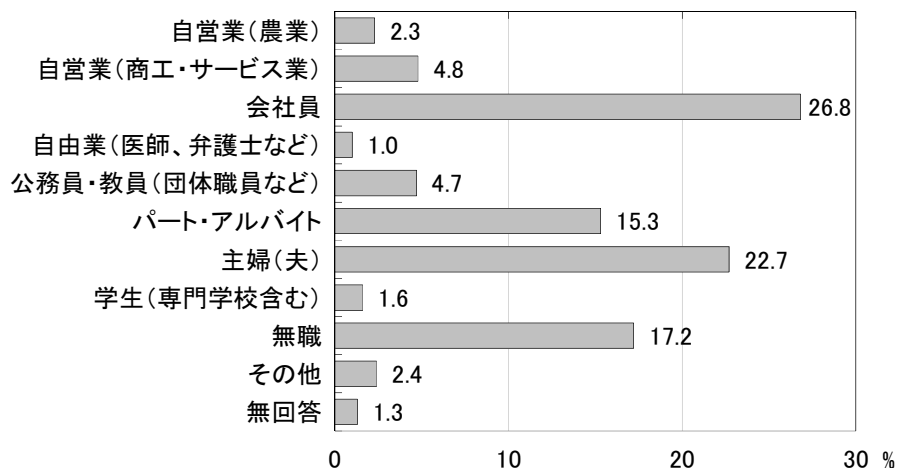


問3 あなたの職業はどれにあたりますか。※兼業の方は主な職業を選んでください。

(○は1つ)

職業は、「会社員」が26.8%と最も高く、次いで「主婦(夫)」が22.7%、「無職」が17.2%となっています。

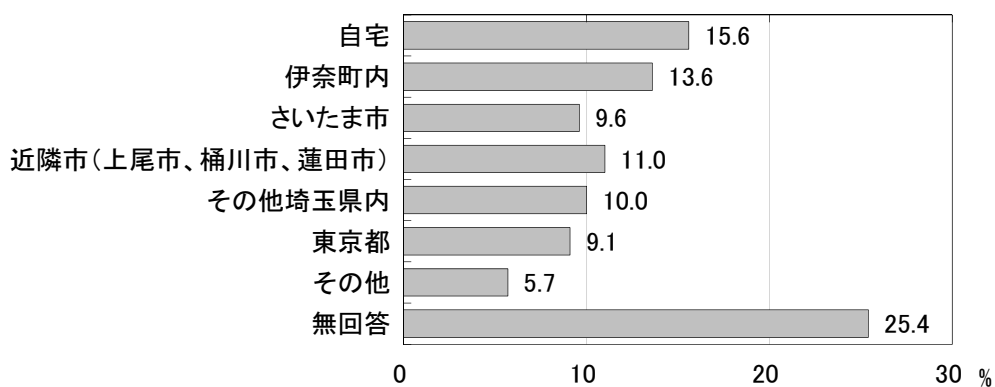
問3 (単数回答) n=836



問4 あなたの通勤先または通学先はどこですか。(○は1つ)

通勤先・通学先は、「自宅」が15.6%と最も高く、次いで「伊奈町内」が13.6%、「近隣市(上尾市、桶川市、蓮田市)」が11.0%となっています。

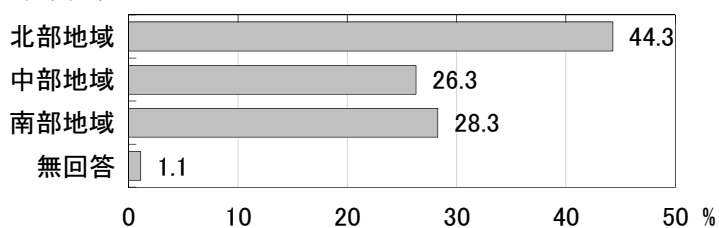
問4 (単数回答) n=836



問5 あなたの住んでいる地域はどこですか。(〇は1つ)

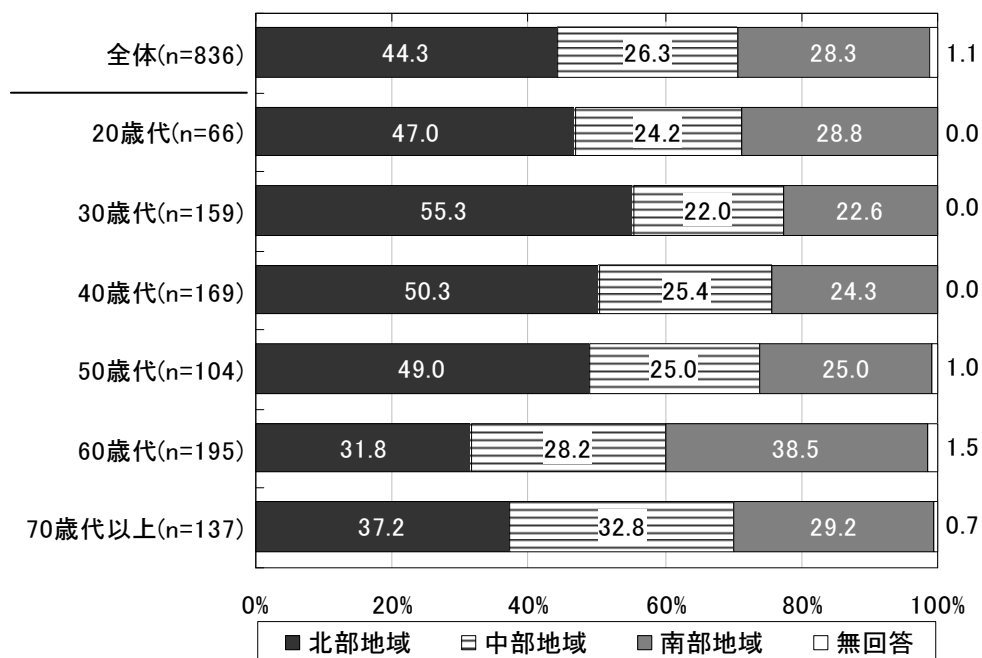
居住地域は、「北部地域」が44.3%と最も高く、次いで「南部地域」が28.3%、「中部地域」が26.3%となっています。

問5 (単数回答) n=836



■問5 × 年代別

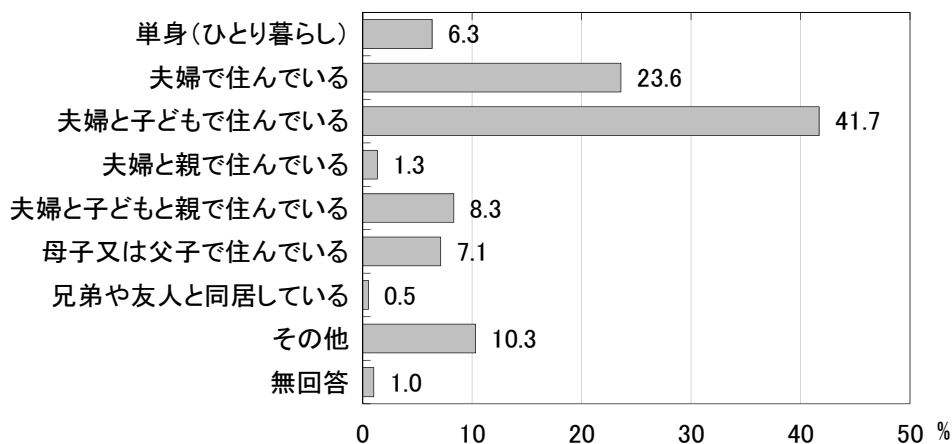
年代別でみると、「北部地域」では30歳代が55.3%、「中部地域」では70歳代以上が32.8%、「南部地域」では60歳代が38.5%とそれぞれ最も高くなっています。



問6 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(○は1つ)

家族構成は、「夫婦と子どもで住んでいる」が41.7%と最も高く、次いで「夫婦で住んでいる」が23.6%、「夫婦と子どもと親で住んでいる」が8.3%となっています。

問6 (単数回答) n=836

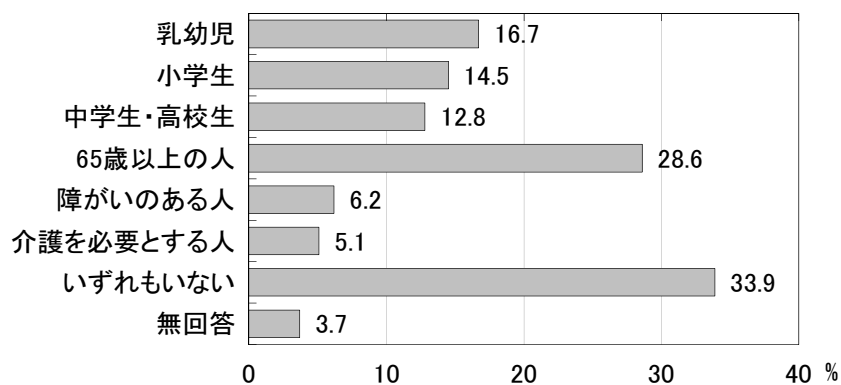


問7 あなた自身や同居している家族の中に、次のような人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

回答者自身や同居している家族に次のような人がいるかについては、「いずれもない」が33.9%と最も高く、次いで「65歳以上の人」が28.6%、「乳幼児」が16.7%となっています。

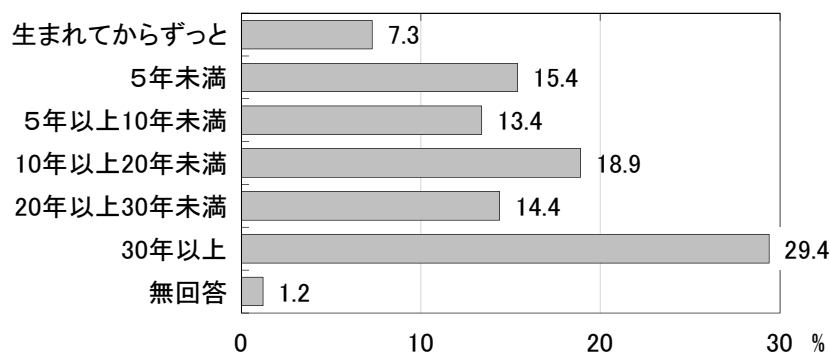
問7 (複数回答) n=836



問8 あなたは伊奈町に何年住んでいますか。(○は1つ)

居住年数は、「30 年以上」が 29.4%と最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 18.9%、「5 年未満」が 15.4%となっています。

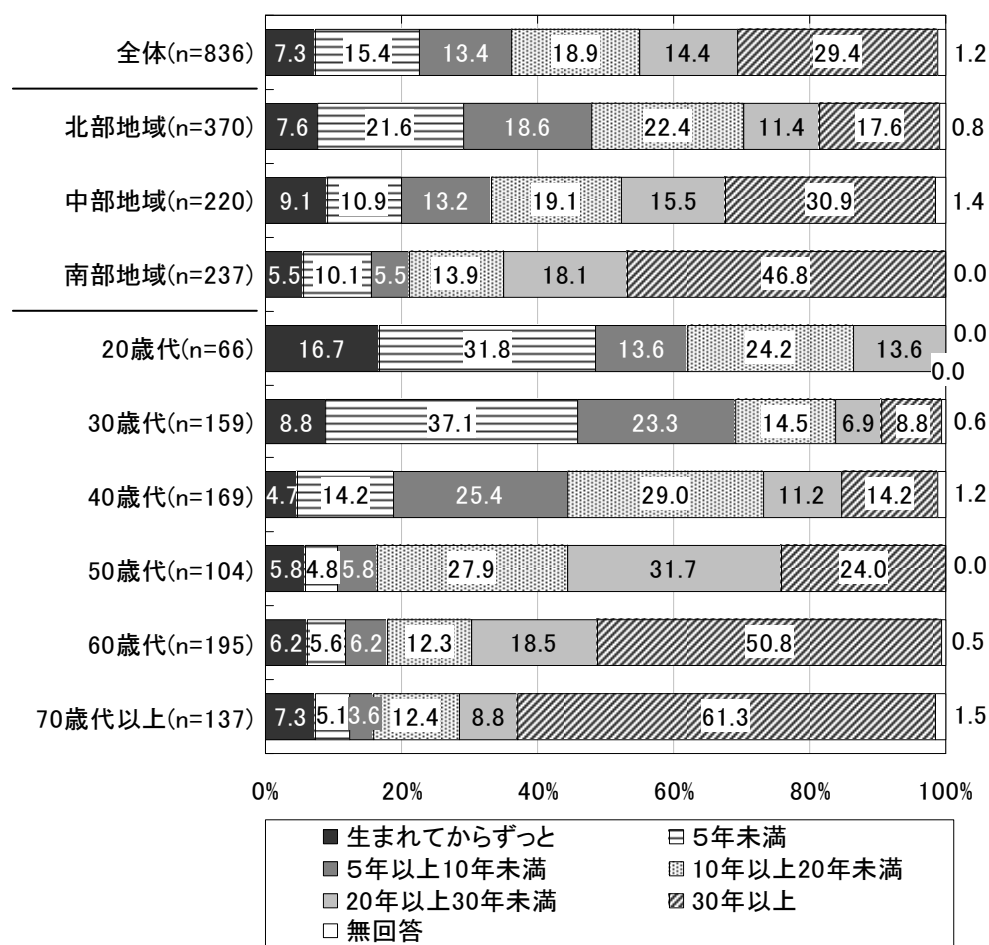
問8 (単数回答) n=836



問8 × 地域別、年代別

地域別でみると、北部地域では「5 年未満」が 21.6%、南部地域では「30 年以上」が 46.8%と他の地域に比べて高くなっています。

年代別でみると、年代が上がるにつれて「5 年未満」が低くなり、「30 年以上」が高くなっています。

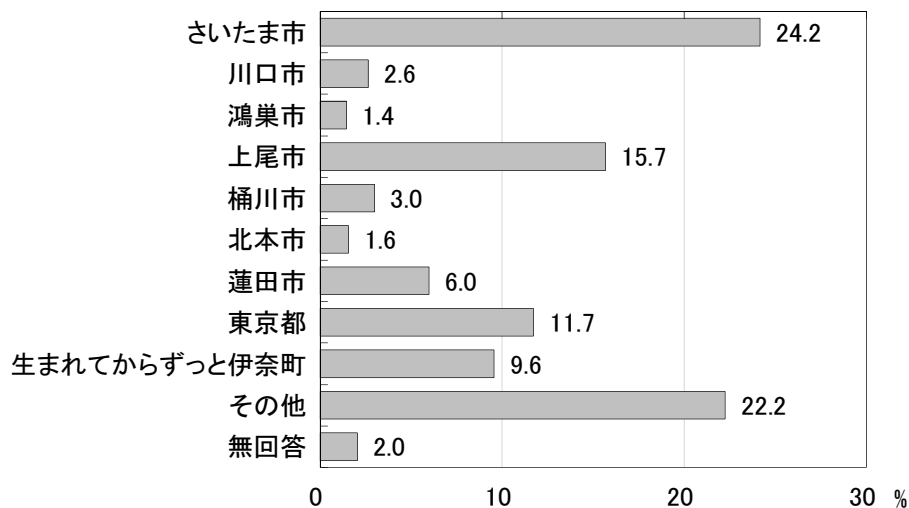


問9 現在の場所に住まれる前はどちらにお住まいでしたか。(○は1つ)

以前住んでいた場所は、「さいたま市」が24.2%と最も高く、次いで「上尾市」が15.7%、「東京都」が11.7%となっています。

また、「その他」の回答では、「久喜市」が13件と最も多く、次いで横浜市、白岡町（現白岡市）となっています。

問9（単数回答） n=836



※その他について、「浦和市」「与野市」「大宮市」と回答されたものは「さいたま市」に、「鳩ヶ谷市」と回答されたものは「川口市」に、東京都内の市区町村を回答されたものは「東京都」にそれぞれ含めています。

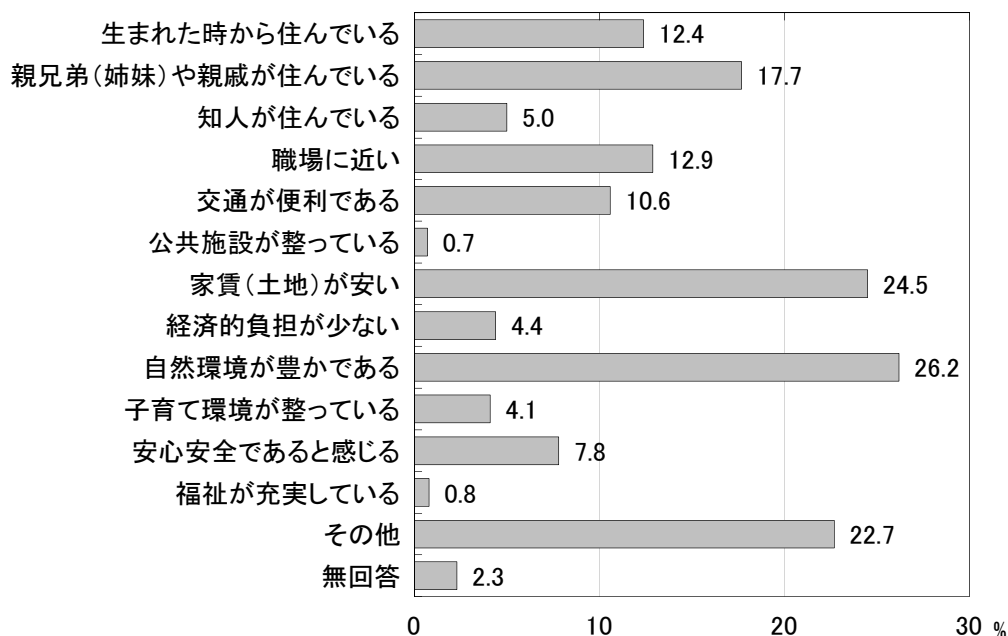
■「その他」の回答(上位7位)

順位	回答	件数
1	久喜市	13
2	横浜市	11
3	白岡町(現白岡市)	9
4	戸田市	8
5	春日部市	7
6	蕨市	5
7	川越市	5

問 10 なぜ、伊奈町に住もうと思いましたか。(〇は3つまで)

伊奈町に住もうと思った理由は、「自然環境が豊かである」が26.2%と最も高く、次いで「家賃（土地）が安い」が24.5%、「親兄弟（姉妹）や親戚が住んでいる」が17.7%となっています。

問10（複数回答）n=836



■問 10 × 年代別

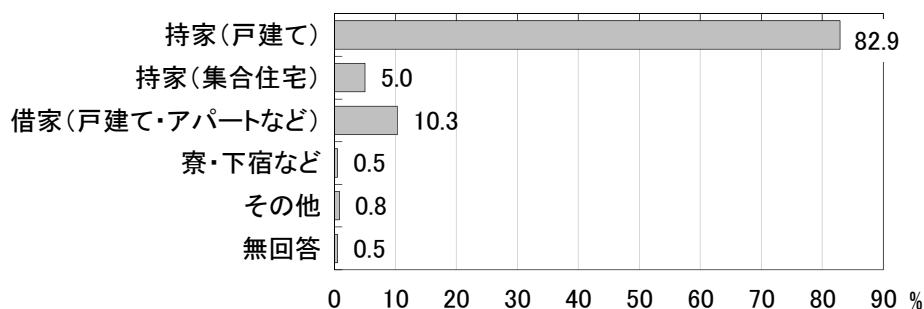
年代別でみると、20 歳代では「生まれた時から住んでいる」が、30 歳代、40 歳代では「家賃（土地）が安い」が、50 歳代以上では「自然環境が豊かである」が最も高くなっています。

単位：%	生まれた時から住んでいる	親兄弟（姉妹）や親戚が住んでいる	知人が住んでいる	職場に近い	交通が便利である	公共施設が整っている	家賃（土地）が安い	経済的負担が少ない	自然環境が豊かである	子育て環境が整っている	安心安全であると感じる	福祉が充実している	その他	無回答
全体(n=836)	12.4	17.7	5.0	12.9	10.6	0.7	24.5	4.4	26.2	4.1	7.8	0.8	22.7	2.3
20歳代(n=66)	24.2	22.7	4.5	12.1	4.5	1.5	18.2	4.5	7.6	3.0	4.5	-	21.2	1.5
30歳代(n=159)	16.4	18.2	2.5	22.0	6.9	-	32.7	5.0	27.7	8.8	12.6	-	19.5	1.9
40歳代(n=169)	10.7	21.3	5.3	13.0	11.8	1.2	27.8	3.0	26.0	4.7	4.7	0.6	25.4	-
50歳代(n=104)	9.6	20.2	1.9	13.5	15.4	-	21.2	1.0	27.9	1.9	1.9	1.0	24.0	1.0
60歳代(n=195)	9.2	16.9	6.7	10.3	10.8	-	19.5	5.1	31.8	2.6	7.2	0.5	22.6	4.1
70歳代以上(n=137)	11.7	10.2	7.3	5.8	13.1	2.2	23.4	7.3	25.5	2.2	13.1	2.9	24.1	1.5

問 11 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(〇は1つ)

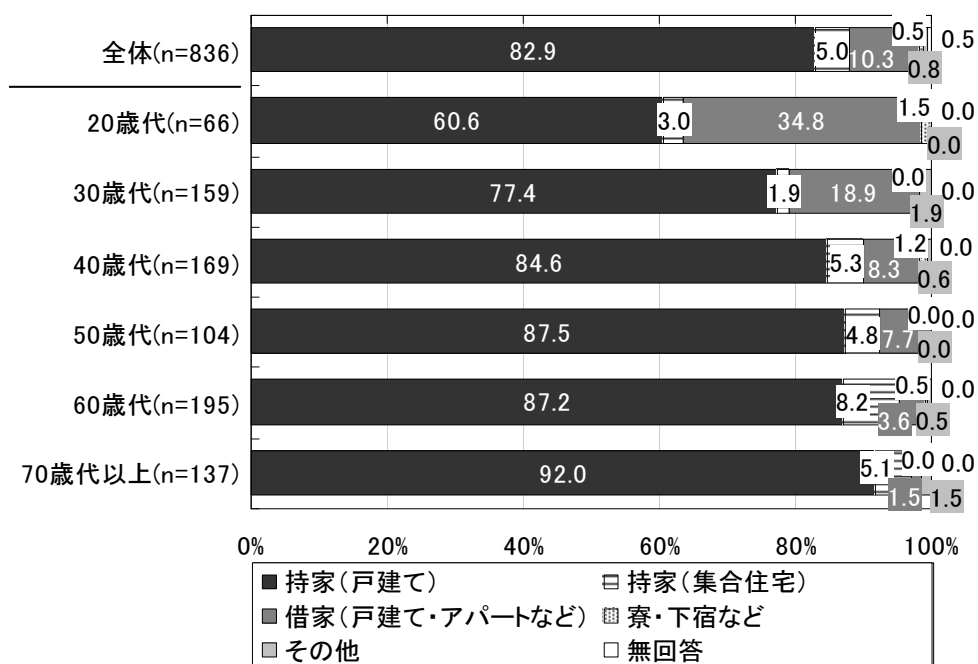
現在お住まいの住宅は、「持家（戸建て）」が82.9%と最も高く、次いで「借家（戸建て・アパートなど）」が10.3%、「持家（集合住宅）」が5.0%となっています。

問11（単数回答） n=836



問 11 × 年代別

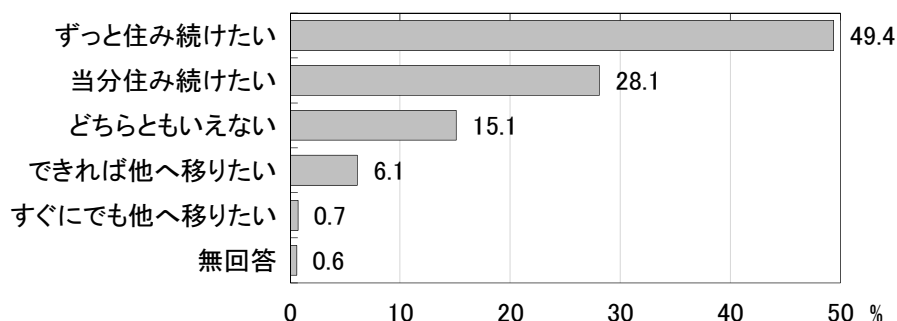
年代別でみると、年代が上がるにつれて「持家（戸建て）」の割合が高くなっています。また、20 歳代では「借家（戸建て・アパートなど）」が34.8%と他の年代に比べて高くなっています。



問 12 あなたは今後も伊奈町に住み続けたいですか。(〇は1つ)

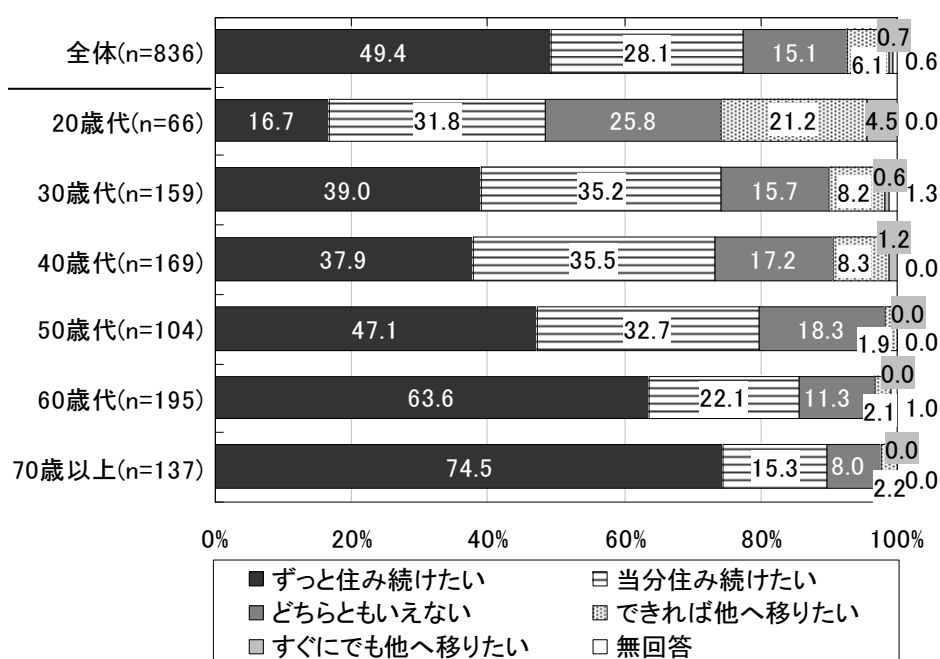
今後も伊奈町に住み続けたいかは、「ずっと住み続けたい」が49.4%、「当分住み続けたい」が28.1%で、合わせると『住み続けたい』は77.5%となっています。

問12 (単数回答) n=836



■問 12 × 年代別

年代別でみると、「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は、年代が上がるにつれて高くなっており、70 歳代以上では 89.8%となっています。また、「できれば他へ移りたい」と「すぐにでも他へ移りたい」を合わせた『移りたい』は 20 歳代で 25.7%と他の年代に比べて高くなっていきます。

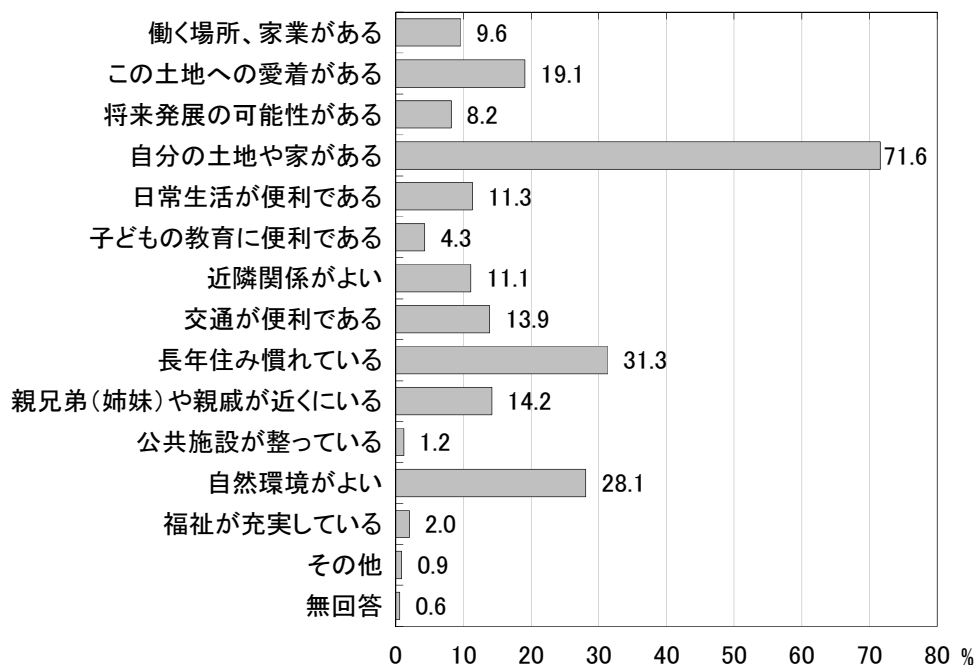


【問 12 で「ずっと住み続けたい」または「当分住み続けたい」を選択された方】

問 13 住み続けたいと思う理由は何ですか。(○は3つまで)

住み続けたい理由は、「自分の土地や家がある」が71.6%と最も高く、次いで「長年住み慣れている」が31.3%、「自然環境がよい」が28.1%となっています。

問13 (複数回答) n=648



■問 13 × 年代別

年代別でみると、20 歳代では「長年住み慣れている」が、30 歳代以上では「自分の土地や家がある」が最も高くなっています。また、20 歳代では、「この土地への愛着がある」が37.5%と他の年代に比べて高くなっています。さらに 30 歳代、40 歳代では「長年住み慣れている」が他の年代に比べて低くなっています。

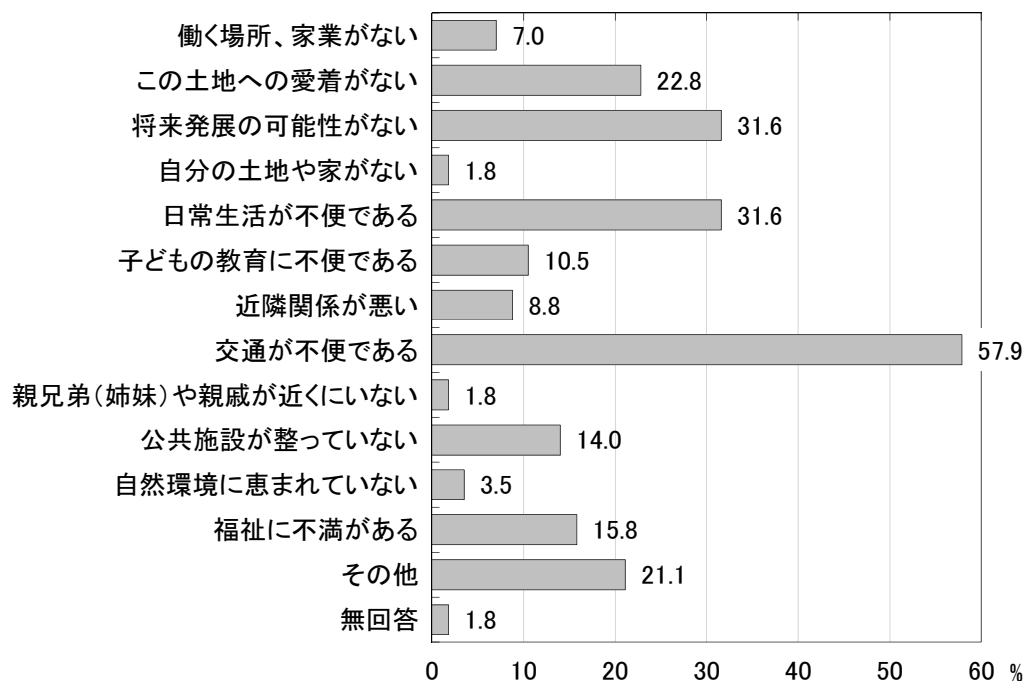
単位: %	働く場所、家業がある	この土地への愛着がある	将来発展の可能性がある	自分の土地や家がある	日常生活が便利である	子どもの教育に便利である	近隣関係がよい	交通が便利である	長年住み慣れている	親兄弟(姉妹)や親戚が近くにいる	公共施設が整っている	自然環境がよい	福祉が充実している	その他	無回答
全体(n=648)	9.6	19.1	8.2	71.6	11.3	4.3	11.1	13.9	31.3	14.2	1.2	28.1	2.0	0.9	0.6
20歳代(n=32)	12.5	37.5	18.8	28.1	21.9	6.3	15.6	9.4	43.8	9.4	-	15.6	-	-	-
30歳代(n=118)	16.1	17.8	14.4	63.6	9.3	14.4	12.7	7.6	14.4	16.9	0.8	33.9	-	1.7	0.8
40歳代(n=124)	11.3	15.3	12.9	83.1	14.5	7.3	8.1	16.1	22.6	18.5	-	29.8	-	0.8	-
50歳代(n=83)	3.6	15.7	4.8	78.3	13.3	-	7.2	15.7	31.3	16.9	3.6	31.3	-	-	-
60歳代(n=167)	6.0	18.0	4.2	76.6	10.2	-	13.8	13.2	40.1	11.4	1.2	28.1	3.0	1.8	0.6
70歳代以上(n=123)	9.8	22.8	2.4	67.5	7.3	-	10.6	18.7	40.7	10.6	1.6	22.0	6.5	-	1.6

【問 12 で「できれば他へ移りたい」または「すぐにでも他へ移りたい」を選択された方】

問 14 他へ移りたいと思う理由は何ですか。(○は3つまで)

他へ移りたいと思う理由については、「交通が不便である」が57.9%と最も高く、次いで「将来発展の可能性がない」と「日常生活が不便である」が31.6%、「この土地への愛着がない」が22.8%となっています。

問14 (複数回答) n=57



■問 14 × 年代別、地域別（標本数が少ないため、参考値として掲載）

年代別でみると、60 歳代以外では「交通が不便である」が最も高くなっています。また、20 歳代と 40 歳代では「日常生活が不便である」が、30 歳代では「将来発展の可能性がない」が高くなっています。

地域別でみると、すべての地域で「交通が不便である」が最も高くなっています。

単位：％	働く場所、家業がない	この土地への愛着がない	将来発展の可能性がない	自分の土地や家がない	日常生活が不便である	子どもの教育に不便である	近隣関係が悪い	交通が不便である	親兄弟（姉妹）や親戚が近くにいない	公共施設が整っていない	自然環境に恵まれていない	福祉に不満がある	その他	無回答
全体(n=57)	7.0	22.8	31.6	1.8	31.6	10.5	8.8	57.9	1.8	14.0	3.5	15.8	21.1	1.8
20歳代(n=17)	17.6	17.6	23.5	5.9	29.4	5.9	—	64.7	—	11.8	—	—	23.5	—
30歳代(n=14)	—	28.6	42.9	—	35.7	21.4	14.3	57.1	—	7.1	—	28.6	14.3	—
40歳代(n=16)	6.3	18.8	25.0	—	31.3	12.5	12.5	56.3	6.3	12.5	6.3	18.8	31.3	—
50歳代(n=2)	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	—
60歳代(n=4)	—	50.0	75.0	—	50.0	—	—	25.0	—	25.0	25.0	25.0	—	—
70歳代以上(n=3)	—	—	—	—	33.3	—	—	100.0	—	33.3	—	33.3	33.3	—
北部地域(n=27)	3.7	11.1	33.3	—	22.2	18.5	11.1	55.6	—	18.5	3.7	29.6	29.6	—
中部地域(n=14)	14.3	21.4	50.0	7.1	28.6	7.1	14.3	64.3	7.1	14.3	—	7.1	—	—
南部地域(n=15)	6.7	46.7	13.3	—	53.3	—	—	60.0	—	6.7	6.7	—	26.7	—

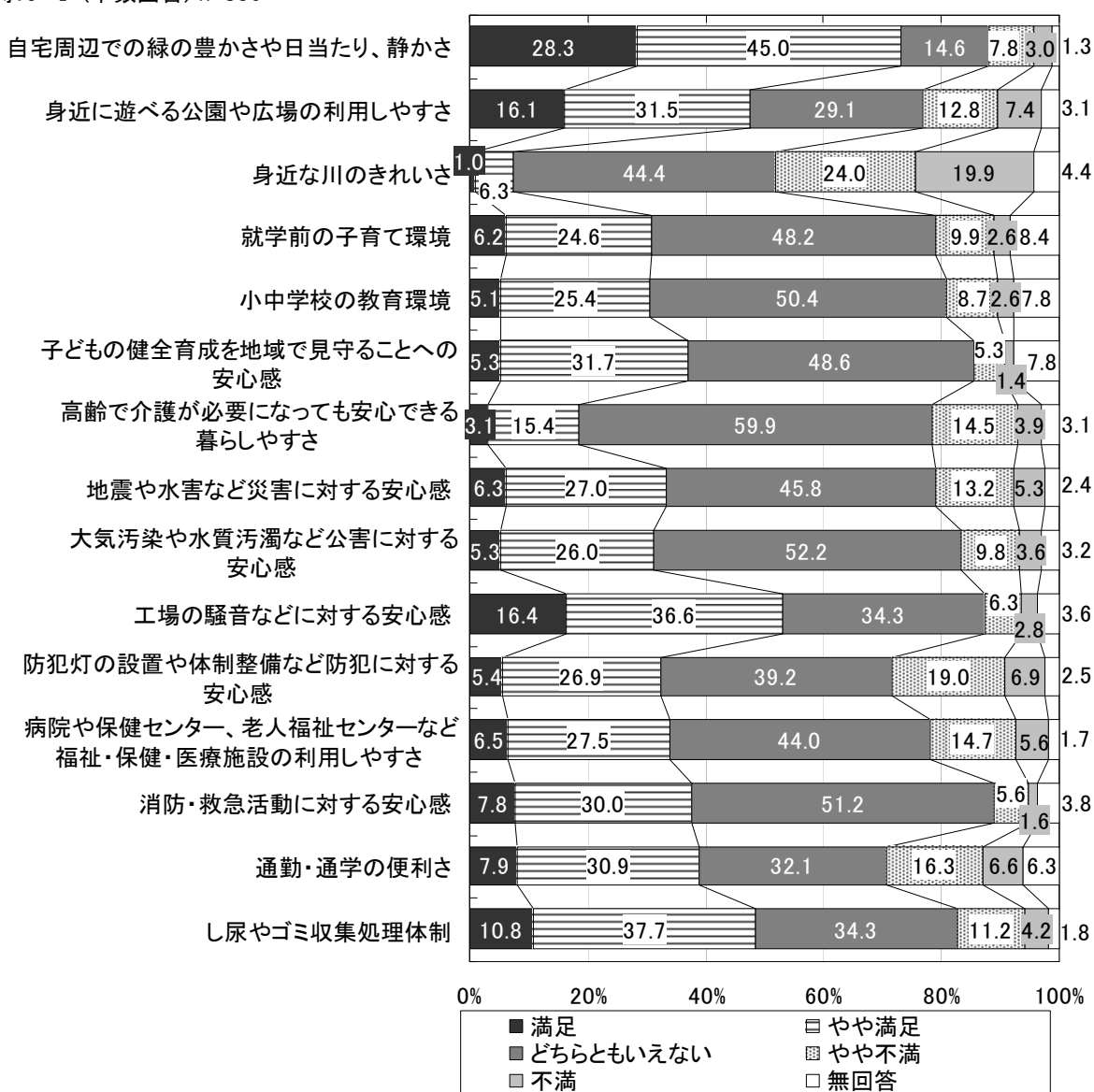
2 あなたの暮らしを取り巻く環境についておたずねします。

問 15 日常生活を送る上で、あなたは次の項目について日ごろどのように感じていますか。
(それぞれ「1」～「5」の中から○は1つ)

1. 住みやすさ

住みやすさでは、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ」が73.3%と最も高く、次いで「工場の騒音などに対する安心感」が53.0%、「し尿やゴミ収集処理体制」が48.5%となっています。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満である』は、「身近な川のきれいさ」が43.9%と他に比べて高くなっています。

問15- I (単数回答) n=836



○問 15－Ⅰ 住みやすさについての「満足度」の平均評価点の算出

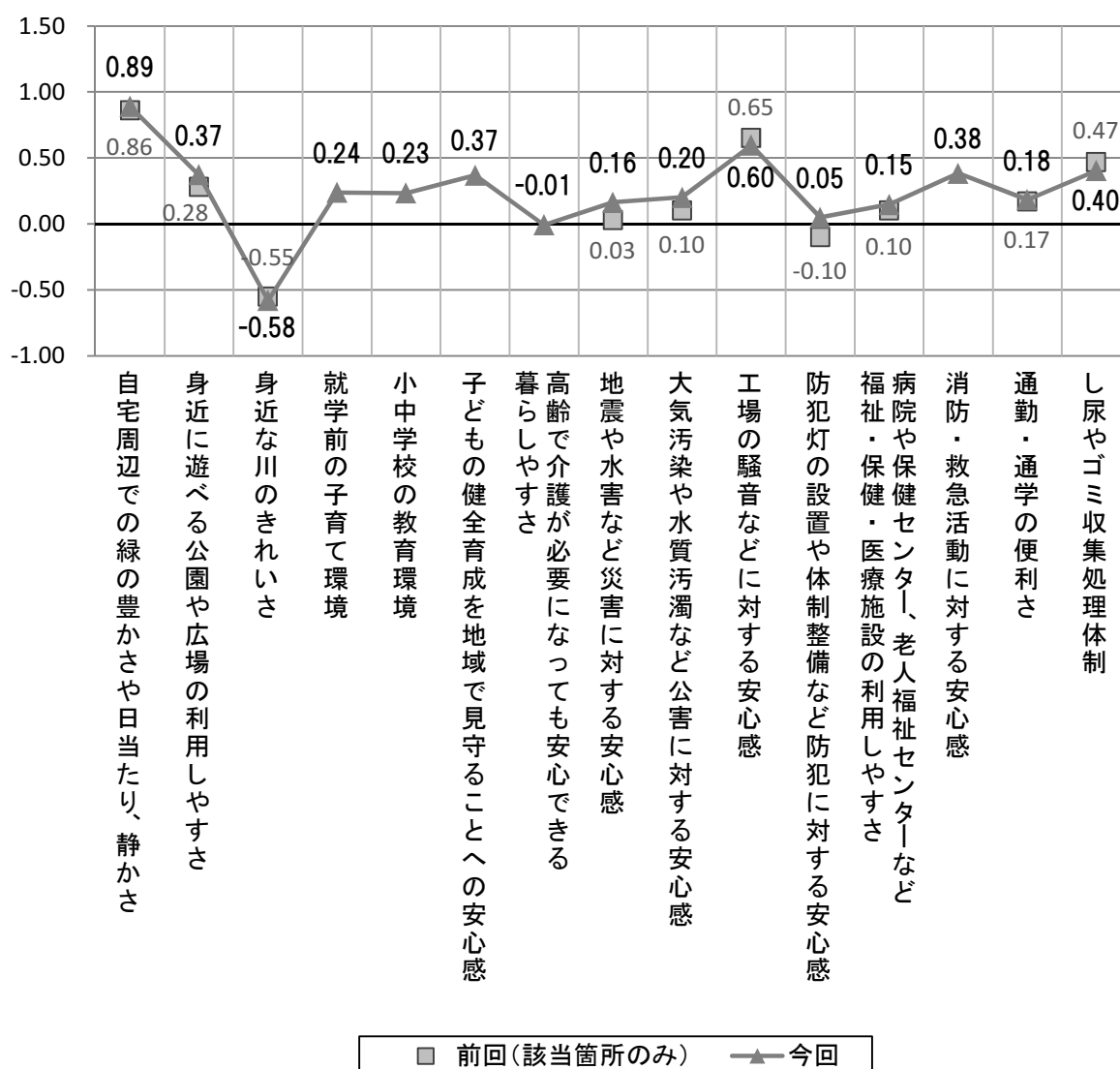
以下、個別項目に対する評価に下記の得点を与え、住みやすさについての満足度に対する平均評価点を求めました。

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
2点	1点	0点	-1点	-2点

■問 15－Ⅰ 平均評価点の算出と前回アンケート(平成 20 年実施)との比較

住みやすさについての満足度は、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ」が 0.89 と最も高く、次いで「工場の騒音などに対する安心感」が 0.60、「し尿やゴミ収集処理体制」が 0.40 となっています。

また、前回アンケートと比較すると、全体的に平均評価点が上がっている一方で、「身近な川のきれいさ」「工場の騒音などに対する安心感」「し尿やゴミ収集処理体制」では、平均評価点が下がっています。



■問 15－Ⅰ 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別でみると、60 歳代と 70 歳代以上では全体の平均評価点を上回っている項目が多くなっています。

地域別でみると、南部地域で他の地域に比べて全体の平均評価点を上回っている項目が多くなっています。

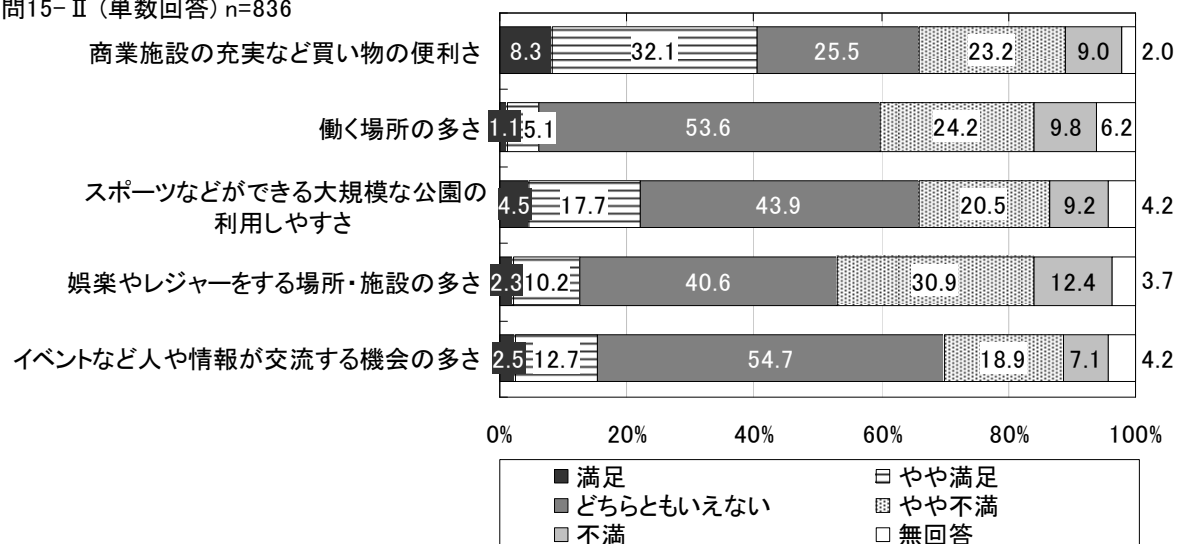
全体平均との比較 (単位:点)	【全体】 平均 評価点	年代別						地域別		
		20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代 以上	北部地域	中部地域	南部地域
自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ	0.89	0.86	0.97	0.98	0.77	0.88	0.81	0.91	0.84	0.91
身近に遊べる公園や広場の利用しやすさ	0.37	0.61	0.65	0.35	0.39	0.19	0.19	0.56	0.05	0.38
身近な川のきれいさ	-0.58	-0.69	-0.46	-0.54	-0.62	-0.64	-0.61	-0.52	-0.55	-0.69
就学前の子育て環境	0.24	0.05	0.33	0.09	0.25	0.34	0.28	0.24	0.16	0.31
小中学校の教育環境	0.23	0.20	0.17	0.14	0.22	0.32	0.38	0.19	0.20	0.33
子どもの健全育成を地域で見守ることへの 安心感	0.37	0.30	0.38	0.34	0.34	0.39	0.44	0.33	0.33	0.46
高齢で介護が必要になっても安心できる 暮らしやすさ	-0.01	0.08	-0.15	-0.10	0.04	-0.07	0.33	-0.04	0.09	-0.04
地震や水害など災害に対する安心感	0.16	0.15	0.01	0.18	0.06	0.20	0.39	0.22	0.30	-0.06
大気汚染や水質汚濁など公害に対する 安心感	0.20	0.12	0.14	0.15	0.23	0.26	0.30	0.22	0.25	0.13
工場の騒音などに対する安心感	0.60	0.55	0.61	0.58	0.58	0.63	0.63	0.60	0.52	0.68
防犯灯の設置や体制整備など防犯に対する 安心感	0.05	-0.14	-0.18	-0.15	0.15	0.13	0.53	-0.01	0.04	0.16
病院や保健センター、老人福祉センターなど 福祉・保健・医療施設の利用しやすさ	0.15	0.23	-0.13	-0.03	0.25	0.19	0.57	0.01	0.30	0.21
消防・救急活動に対する安心感	0.38	0.41	0.18	0.33	0.39	0.43	0.67	0.27	0.57	0.39
通勤・通学の便利さ	0.18	-0.15	0.05	0.12	0.33	0.31	0.34	0.15	0.11	0.28
し尿やゴミ収集処理体制	0.40	0.14	0.20	0.28	0.35	0.59	0.73	0.35	0.32	0.55

※マーカー部分は、全体の平均評価点を上回っている部分

II. 賑やかさ

賑やかさでは、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「商業施設の充実など買い物の便利さ」で40.4%と最も高くなっています。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満である』は、「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」が43.3%と他に比べて高くなっています。

問15- II (単数回答) n=836



○問 15－Ⅱ 賑やかさについての「満足度」の平均評価点の算出

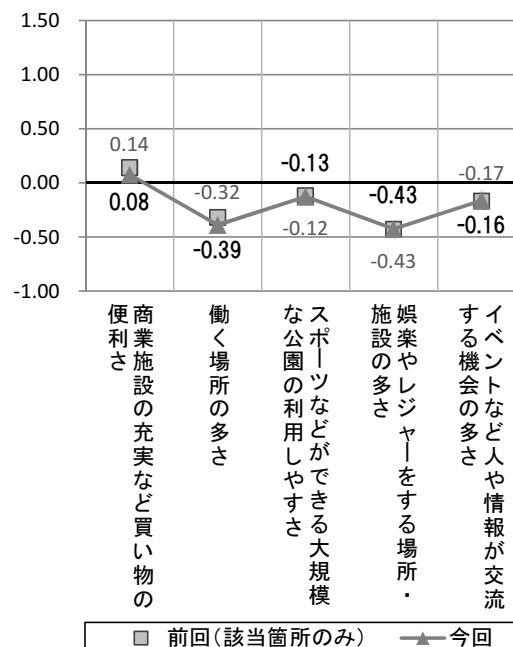
以下、個別項目に対する評価に下記の得点を与え、賑やかさについての満足度に対する平均評価点を求めました。

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
2点	1点	0点	-1点	-2点

■問 15－Ⅱ 平均評価点の算出と前回アンケート(平成 20 年実施)との比較

「賑やかさ」についての満足度は、「商業施設の充実など買い物の便利さ」が 0.08 と最も高く、次いで「スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ」が-0.13、「イベントなど人や情報が交流する機会の多さ」が-0.16 となっています。

また、前回アンケートと比較すると、「スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ」「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」では平均評価点は前回とほぼ同じとなっており、それ以外の項目では平均評価点は下がっています。



■問 15－Ⅱ 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別でみると、50 歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っています。

地域別でみると、中部地域ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

全体平均との比較 (単位:点)	【全体】 平均 評価点	年代別						地域別		
		20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代 以上	北部地域	中部地域	南部地域
商業施設の充実など買い物の便利さ	0.08	-0.02	0.02	0.11	0.22	0.07	0.05	0.30	-0.15	-0.05
働く場所の多さ	-0.39	-0.65	-0.39	-0.48	-0.27	-0.33	-0.32	-0.40	-0.44	-0.33
スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ	-0.13	-0.08	-0.03	-0.28	-0.01	-0.10	-0.16	-0.06	-0.28	-0.08
娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ	-0.43	-0.59	-0.42	-0.55	-0.33	-0.34	-0.35	-0.43	-0.47	-0.39
イベントなど人や情報が交流する機会の多さ	-0.16	-0.12	-0.07	-0.17	-0.11	-0.25	-0.15	-0.13	-0.20	-0.16

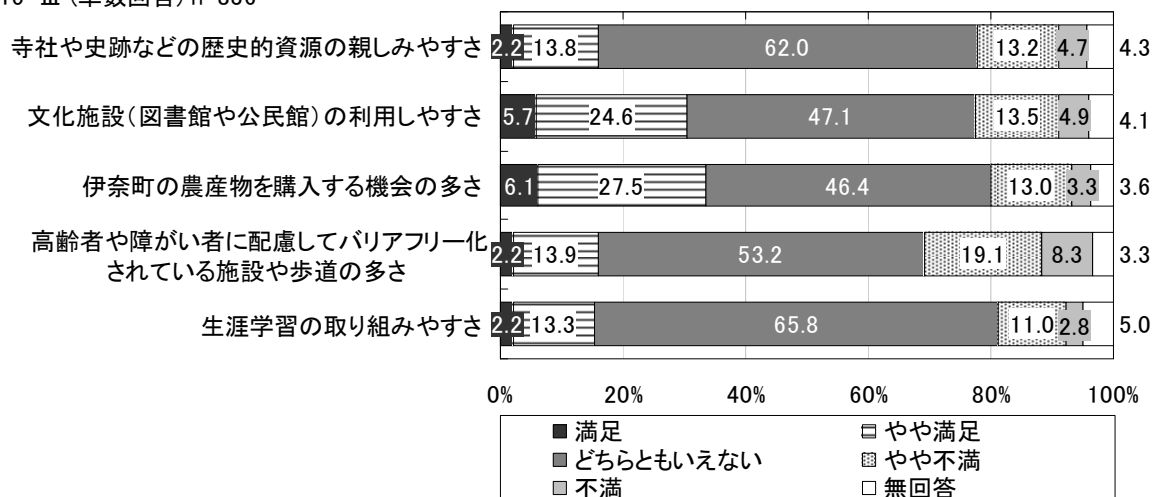
※マーカー部分は、全体の平均評価点を上回っている部分

Ⅲ. 豊かさ

豊かさでは、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「伊奈町の農産物を購入する機会の多さ」が33.6%と最も高く、次いで「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」が30.3%と他の3つの項目に比べて高くなっています。

また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満である』は、「高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ」が27.4%と他に比べて高くなっています。

問15-Ⅲ（単数回答）n=836



○問 15－Ⅲ 豊かさについての「満足度」の平均評価点の算出

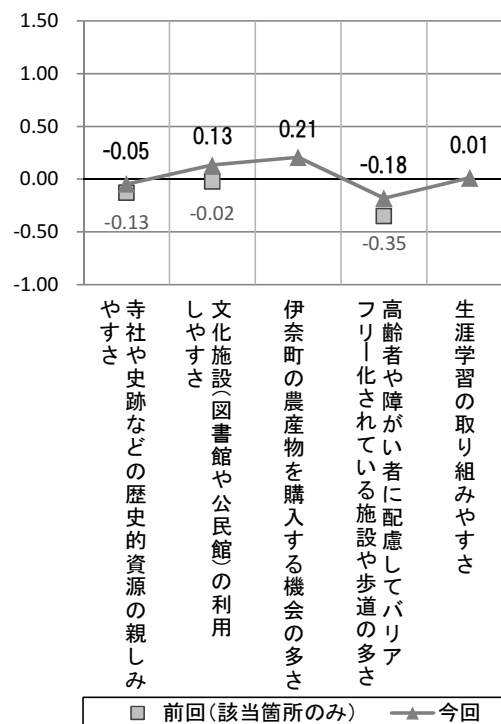
以下、個別項目に対する評価に下記の得点を与え、豊かさについての満足度に対する平均評価点を求めました。

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
2点	1点	0点	-1点	-2点

■問 15－Ⅲ 平均評価点の算出と前回アンケート(平成 20 年実施)との比較

「豊かさ」についての満足度は、「伊奈町の農産物を購入する機会の多さ」が 0.21 と最も高く、次いで「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」が 0.13、「生涯学習の取り組みやすさ」が 0.01 となっています。

また、前回のアンケートと比較すると、全体的に平均評価点が上がっています。



■問 15－Ⅲ 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別でみると、50 歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っており、40 歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

地域別でみると、「寺社や史跡などの歴史的資源の親しみやすさ」「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」では、中部地域のみが全体の平均評価点を上回っています。

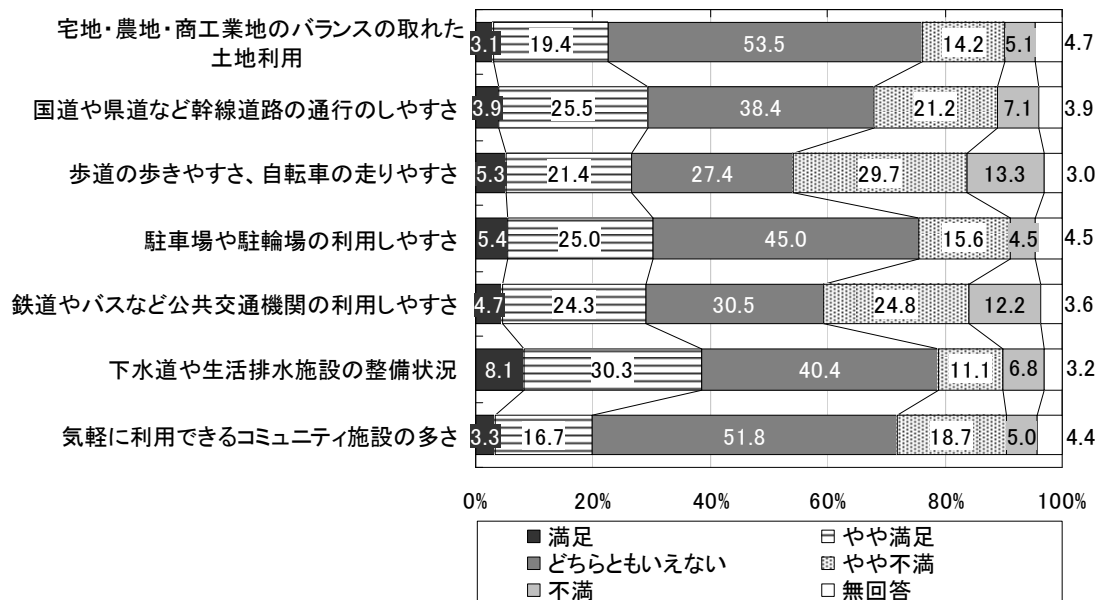
全体平均との比較 (単位:点)	【全体】 平均 評価点	年代別						地域別		
		20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代 以上	北部地域	中部地域	南部地域
寺社や史跡などの歴史的資源の親しみやすさ	-0.05	-0.05	-0.07	-0.12	0.02	-0.07	0.07	-0.09	0.07	-0.09
文化施設(図書館や公民館)の利用しやすさ	0.13	0.20	0.01	0.02	0.18	0.23	0.24	-0.02	0.39	0.13
伊奈町の農産物を購入する機会の多さ	0.21	0.18	0.18	0.13	0.27	0.25	0.24	0.12	0.14	0.39
高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ	-0.18	0.05	-0.01	-0.23	-0.13	-0.36	-0.21	-0.08	-0.35	-0.17
生涯学習の取り組みやすさ	0.01	-0.02	0.05	-0.01	0.12	-0.05	0.03	0.02	-0.03	0.04

※マーカー部分は、全体の平均評価点を上回っている部分

IV. 快適さ

快適さでは、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「下水道や生活排水施設の整備状況」が38.4%と最も高く、次いで「駐車場や駐輪場の利用しやすさ」が30.4%、「国道や県道など幹線道路の通行のしやすさ」が29.4%となっています。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満である』は、「歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ」が43.0%と他に比べて高くなっています。

問15-Ⅳ（単数回答）n=836



○問 15－Ⅳ 快適さについての「満足度」の平均評価点の算出

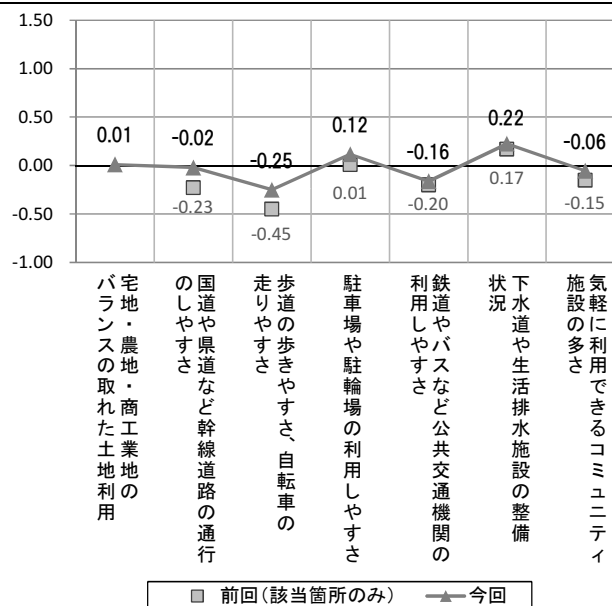
以下、個別項目に対する評価に下記の得点を与え、快適さについての満足度に対する平均評価点を求めました。

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
2点	1点	0点	－1点	－2点

■問 15－Ⅳ 平均評価点の算出と前回アンケート(平成 20 実施)との比較

「快適さ」についての満足度は、「下水道や生活排水施設の整備状況」が 0.22 と最も高く、次いで「駐車場や駐輪場の利用しやすさ」が 0.12、「宅地・農地・商工業地のバランスの取れた土地利用」が 0.01 となっています。

また、前回アンケートと比較すると、全体的に平均評価点が上がっています。



■問 15－Ⅳ 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別でみると、30 歳代と 70 歳代では全体の平均評価点を上回っている項目が多くなっています。

地域別でみると、北部地域では全体の平均評価点を上回っている項目が多くなっており、中部地域ではすべての項目で平均評価点を下回っています。

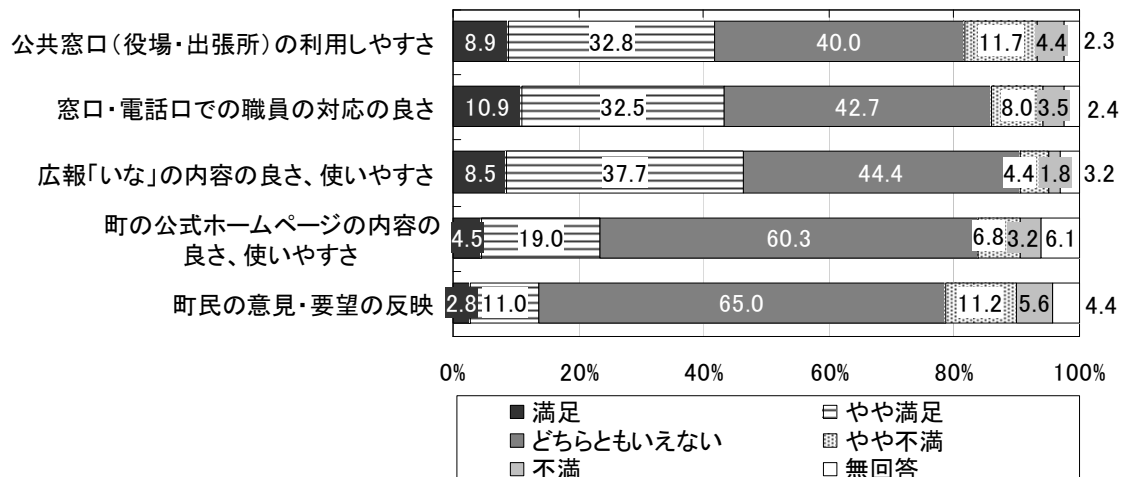
全体平均との比較 (単位:点)	【全体】 平均 評価点	年代別						地域別		
		20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代 以上	北部地域	中部地域	南部地域
宅地・農地・商工業地のバランスの取れた土地利用	0.01	-0.03	0.13	-0.06	0.01	-0.04	0.09	0.05	-0.04	0.01
国道や県道など幹線道路の通行のしやすさ	-0.02	0.27	0.17	-0.15	-0.10	-0.13	0.04	0.11	-0.17	-0.07
歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ	-0.25	0.18	-0.09	-0.37	-0.23	-0.41	-0.29	0.07	-0.53	-0.47
駐車場や駐輪場の利用しやすさ	0.12	0.18	0.35	0.21	0.10	-0.03	-0.09	0.28	0.01	-0.03
鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ	-0.16	-0.45	-0.35	-0.27	-0.08	0.01	0.10	-0.16	-0.17	-0.15
下水道や生活排水施設の整備状況	0.22	0.08	0.34	0.21	0.09	0.15	0.42	0.34	0.03	0.23
気軽に利用できるコミュニティ施設の多さ	-0.06	-0.03	-0.03	-0.10	-0.05	-0.06	0.01	-0.02	-0.10	-0.05

※マーカー部分は、全体平均値を上回っている部分

V. 町政について

町政については、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「広報『いな』の内容の良さ、使いやすさ」が46.2%と最も高く、次いで「窓口・電話口での職員の対応の良さ」が43.4%、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」が41.7%となっています。

問15-V（単数回答）n=836



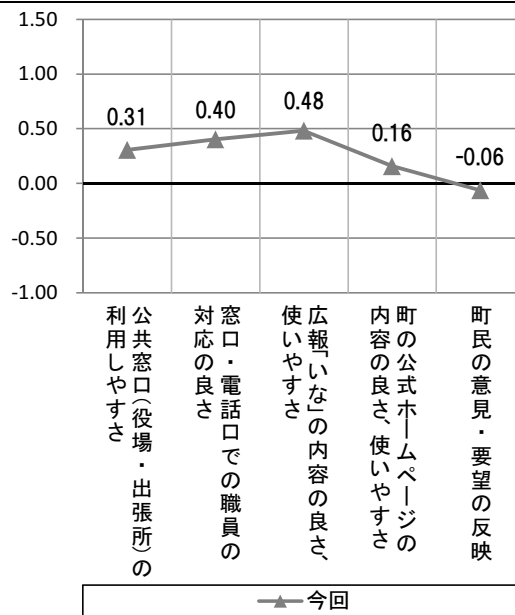
○問 15－V 町政についての「満足度」の平均評価点の算出

以下、個別項目に対する評価に下記の得点を与え、町政についての満足度に対する平均評価点を求めました。

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
2点	1点	0点	－1点	－2点

■問 15－V 平均評価点の算出

町政についての満足度は、「広報『いな』の内容の良さ、使いやすさ」が0.48と最も高く、次いで「窓口・電話口での職員の対応の良さ」が0.40、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」が0.31となっています。



■問 15－V 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別でみると、60歳代と70歳代以上では全体の平均評価点を上回っている項目が多く、なっています。

地域別でみると、南部地域では全ての項目で全体の平均評価点を上回っています。

全体平均との比較 (単位:点)	【全体】 平均 評価点	年代別						地域別		
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上	北部地域	中部地域	南部地域
公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ	0.31	0.15	0.29	0.23	0.31	0.31	0.54	0.25	0.38	0.33
窓口・電話口での職員の対応の良さ	0.40	0.17	0.33	0.27	0.29	0.56	0.67	0.37	0.40	0.45
広報「いな」の内容の良さ、使いやすさ	0.48	0.38	0.48	0.42	0.42	0.51	0.65	0.49	0.42	0.53
町の公式ホームページの内容の良さ、使いやすさ	0.16	0.05	0.12	0.07	0.14	0.24	0.32	0.11	0.20	0.20
町民の意見・要望の反映	-0.06	-0.09	-0.15	-0.19	-0.02	0.01	0.09	-0.08	-0.10	-0.01

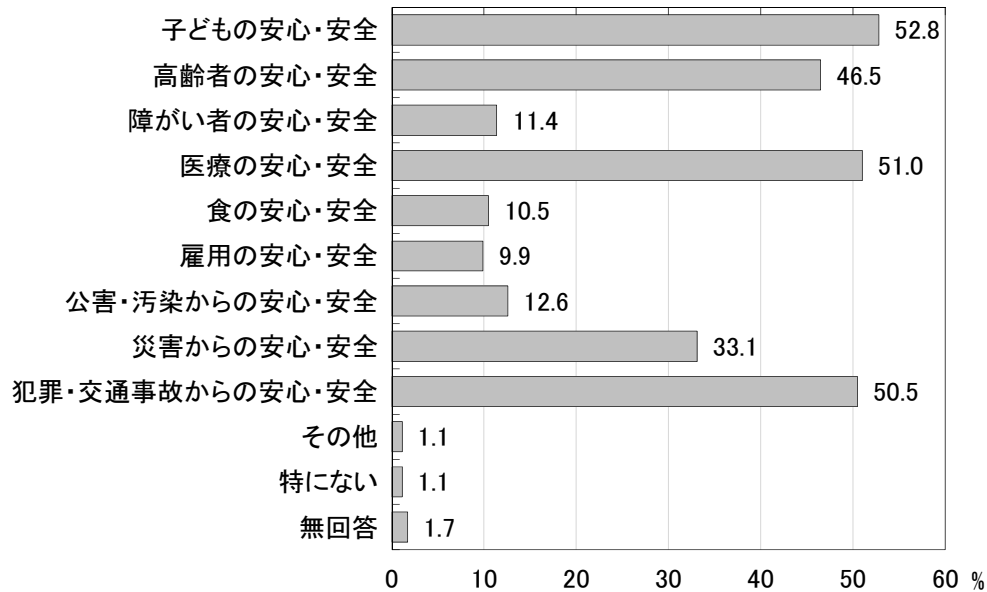
※マーカー部分は、全体の平均評価点を上回っている部分

3 伊奈町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします。

問 16 伊奈町ではこれまで、「安心・安全」をキーワードにまちづくりを進めてきました。今後、次の「安心・安全」のうち、特にどれが重要であると考えていますか。(〇は3つまで)

今後特に重要であるとする「安心・安全」は、「子どもの安心・安全」が52.8%と最も高く、次いで「医療の安心・安全」が51.0%、「犯罪・交通事故からの安心・安全」が50.5%となっています。

問16(複数回答) n=836



■問 16 × 性別、年代別、地域別

性別でみると、男性では「犯罪・交通事故からの安心・安全」が56.4%、女性では「医療の安心・安全」が54.0%と最も高くなっています。

年代別でみると、20歳代、30歳代では「子どもの安心・安全」が、40歳代、50歳代では「犯罪・交通事故からの安心・安全」が、60歳代では「医療の安心・安全」が、70歳代以上では「高齢者の安心・安全」がそれぞれ最も高くなっています。

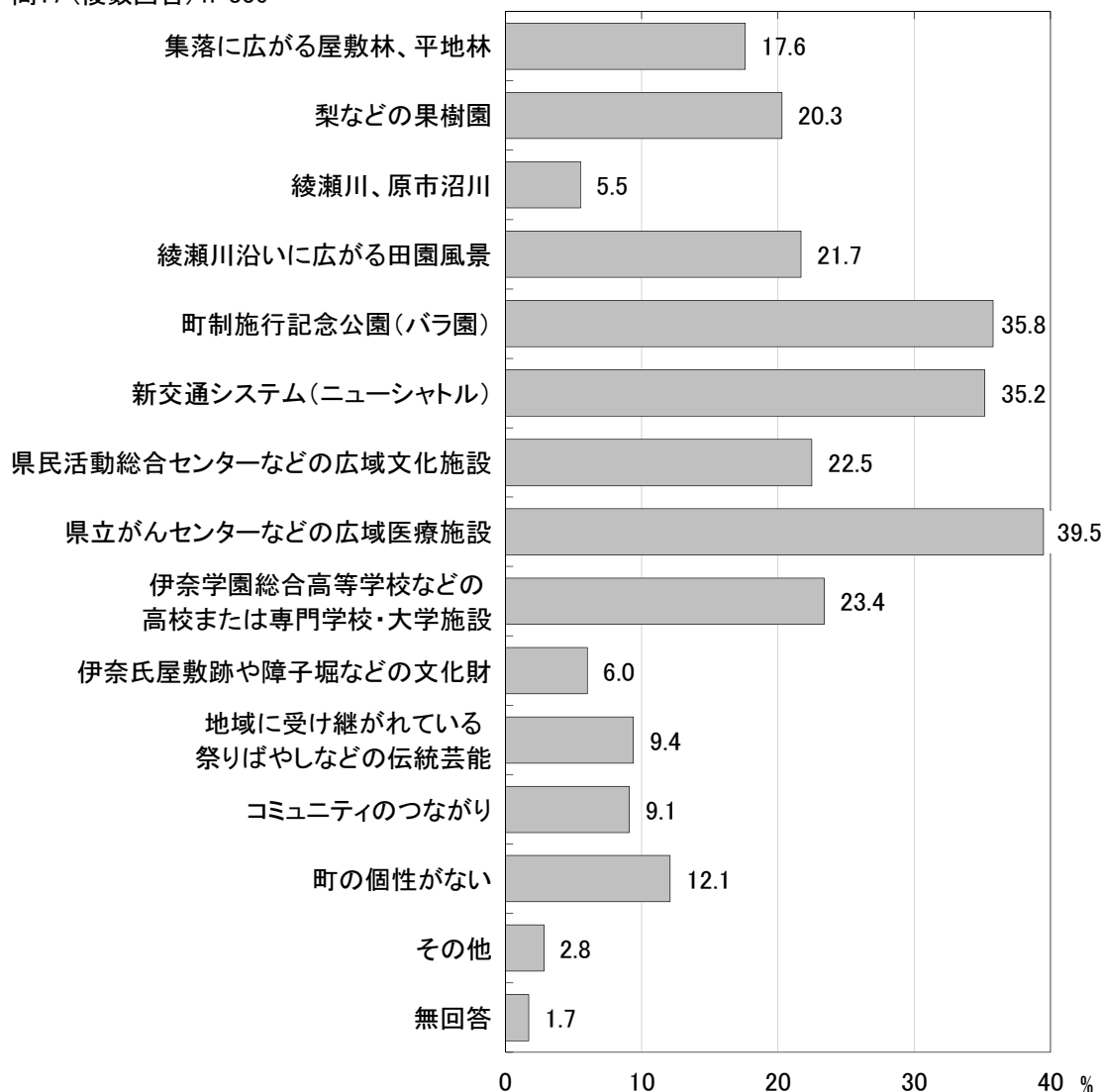
地域別でみると、北部地域、中部地域では「子どもの安心・安全」が、南部地域では「高齢者の安心・安全」が最も高くなっています。また、「災害からの安心・安全」では、南部地域が42.2%と他の地域に比べて高くなっています。

単位：%	子どもの安心・安全	高齢者の安心・安全	障がい者の安心・安全	医療の安心・安全	食の安心・安全	雇用の安心・安全	公害・汚染からの安心・安全	災害からの安心・安全	犯罪・交通事故からの安心・安全	その他	特にな	無回答
全体(n=836)	52.8	46.5	11.4	51.0	10.5	9.9	12.6	33.1	50.5	1.1	1.1	1.7
男性(n=374)	52.7	47.6	10.7	47.1	12.0	9.1	12.3	31.3	56.4	0.8	1.1	1.9
女性(n=452)	53.3	46.0	11.9	54.0	9.5	10.6	12.6	34.7	45.4	1.1	1.1	1.5
20歳代(n=66)	65.2	25.8	9.1	36.4	19.7	15.2	21.2	31.8	62.1	1.5	—	—
30歳代(n=159)	77.4	29.6	8.8	47.8	8.8	14.5	8.8	30.8	56.0	0.6	0.6	0.6
40歳代(n=169)	61.5	32.0	7.1	48.5	7.7	10.7	12.4	35.5	62.7	1.8	0.6	0.6
50歳代(n=104)	42.3	52.9	7.7	44.2	10.6	12.5	10.6	37.5	55.8	1.9	1.9	1.0
60歳代(n=195)	37.4	59.5	15.4	62.6	12.3	7.2	9.2	35.4	39.0	0.5	2.6	2.6
70歳代以上(n=137)	38.7	72.3	17.5	52.6	8.8	3.6	19.0	26.3	36.5	—	—	4.4
北部地域(n=370)	57.3	41.1	10.0	50.3	8.6	11.9	10.8	31.1	53.0	1.6	1.4	2.2
中部地域(n=220)	53.6	50.0	15.0	52.3	12.7	7.3	13.2	26.8	48.2	—	1.4	1.4
南部地域(n=237)	45.6	52.3	9.7	50.2	11.4	9.3	14.8	42.2	49.8	0.8	0.4	1.3

問 17 あなたは将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性は何であると思いますか。
(〇は3つまで)

将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性は、「県立がんセンターなどの広域医療施設」が39.5%と最も高く、次いで「町制施行記念公園（バラ園）」が35.8%、「新交通システム（ニューシャトル）」が35.2%となっています。

問17（複数回答） n=836



■問 17 × 年代別、地域別

年代別でみると、20 歳代、30 歳代では「町制施行記念公園（バラ園）」が、40 歳代では「新交通システム（ニューシャトル）」が、50 歳代以上では「県立がんセンターなどの広域医療施設」が最も高くなっています。

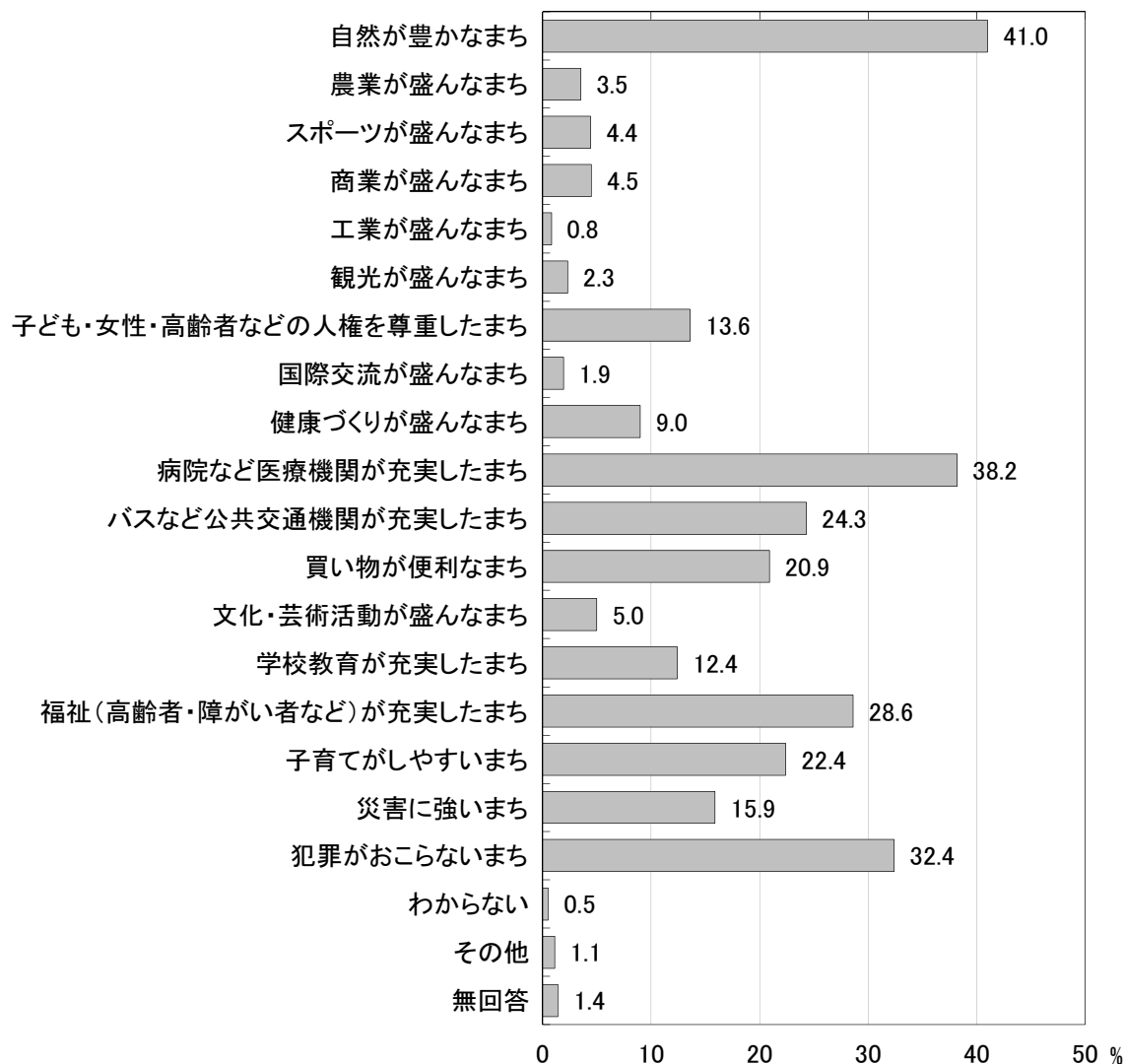
地域別でみると、北部地域では「町制施行記念公園（バラ園）」が 44.6%、中部地域では「新交通システム（ニューシャトル）」が 38.6%、南部地域では「県立がんセンターなどの広域医療施設」が 53.6%と最も高くなっています。

単位：%	集落に広がる屋敷林、平地林	梨などの果樹園	綾瀬川、原市沼川	綾瀬川沿いに広がる田園風景	町制施行記念公園（バラ園）	新交通システム（ニューシャトル）	県民活動総合センターなどの広域文化施設	県立がんセンターなどの広域医療施設	伊奈学園総合高等学校などの高校または専門学校・大学施設	伊奈氏屋敷跡や障子堀などの文化財	地域に受け継がれている祭りばやしなどの伝統芸能	コミュニティのつながり	町の個性がない	その他	無回答
全体(n=836)	17.6	20.3	5.5	21.7	35.8	35.2	22.5	39.5	23.4	6.0	9.4	9.1	12.1	2.8	1.7
20歳代(n=66)	12.1	37.9	-	21.2	43.9	30.3	10.6	27.3	28.8	3.0	10.6	7.6	10.6	-	1.5
30歳代(n=159)	15.1	25.2	4.4	15.7	42.8	35.8	24.5	33.3	29.6	5.0	8.8	8.2	8.2	5.0	0.6
40歳代(n=169)	20.1	21.9	4.1	23.1	34.3	36.7	22.5	36.1	26.6	4.7	6.5	8.9	9.5	3.0	0.6
50歳代(n=104)	19.2	19.2	5.8	26.9	36.5	38.5	18.3	41.3	23.1	7.7	6.7	4.8	12.5	3.8	1.0
60歳代(n=195)	17.9	14.4	9.2	22.6	31.8	31.3	26.7	46.7	19.0	5.6	11.8	10.3	16.4	2.1	1.5
70歳代以上(n=137)	18.2	13.1	5.8	21.2	32.1	38.0	23.4	46.0	17.5	9.5	11.7	12.4	13.1	1.5	5.1
北部地域(n=370)	14.1	20.5	3.0	18.4	44.6	42.2	23.8	32.4	25.4	4.3	7.8	8.6	9.5	3.5	2.4
中部地域(n=220)	20.5	19.5	4.5	23.2	30.0	38.6	20.0	37.3	21.8	8.2	11.8	7.7	15.9	2.3	1.8
南部地域(n=237)	21.1	19.8	10.5	24.5	27.4	21.1	22.8	53.6	22.4	6.8	8.9	11.0	12.7	2.1	0.4

問 18 今後、伊奈町には、どのようなまちになってほしいですか。(〇は3つまで)

今後、伊奈町に、どのようなまちになってほしいかは、「自然が豊かなまち」が41.0%と最も高く、次いで「病院など医療機関が充実したまち」が38.2%、「犯罪がおこらないまち」が32.4%となっています。

問18 (複数回答) n=836



■問 18 × 年代別

年代別でみると、20 歳代と 50 歳代以上では「自然が豊かなまち」が、30 歳代では「子育てがしやすいまち」が、40 歳代では「犯罪がおこらないまち」が最も高くなっています。また、30 歳代では「学校教育が充実したまち」が 27.0%、70 歳代以上では「子ども・女性・高齢者などの人権を尊重したまち」が 26.3%と他の年代に比べて高くなっています。

単位：%	自然が豊かなまち	農業が盛んなまち	スポーツが盛んなまち	商業が盛んなまち	工業が盛んなまち	観光が盛んなまち	子ども・女性・高齢者などの人権を尊重したまち	国際交流が盛んなまち	健康づくりが盛んなまち	病院など医療機関が充実したまち	バスなど公共交通機関が充実したまち
全体(n=836)	41.0	3.5	4.4	4.5	0.8	2.3	13.6	1.9	9.0	38.2	24.3
20歳代(n=66)	39.4	3.0	9.1	6.1	—	3.0	13.6	1.5	7.6	28.8	34.8
30歳代(n=159)	28.3	1.9	6.9	5.0	1.9	3.1	8.2	1.3	4.4	33.3	28.3
40歳代(n=169)	40.2	3.6	1.8	6.5	0.6	3.6	10.1	3.0	8.3	36.1	28.4
50歳代(n=104)	50.0	4.8	5.8	1.0	—	1.9	7.7	2.9	7.7	40.4	19.2
60歳代(n=195)	45.6	4.6	2.1	5.1	1.0	1.0	15.9	2.1	11.8	44.6	17.4
70歳代以上(n=137)	44.5	2.9	4.4	2.2	0.7	1.5	26.3	0.7	13.1	40.1	21.9

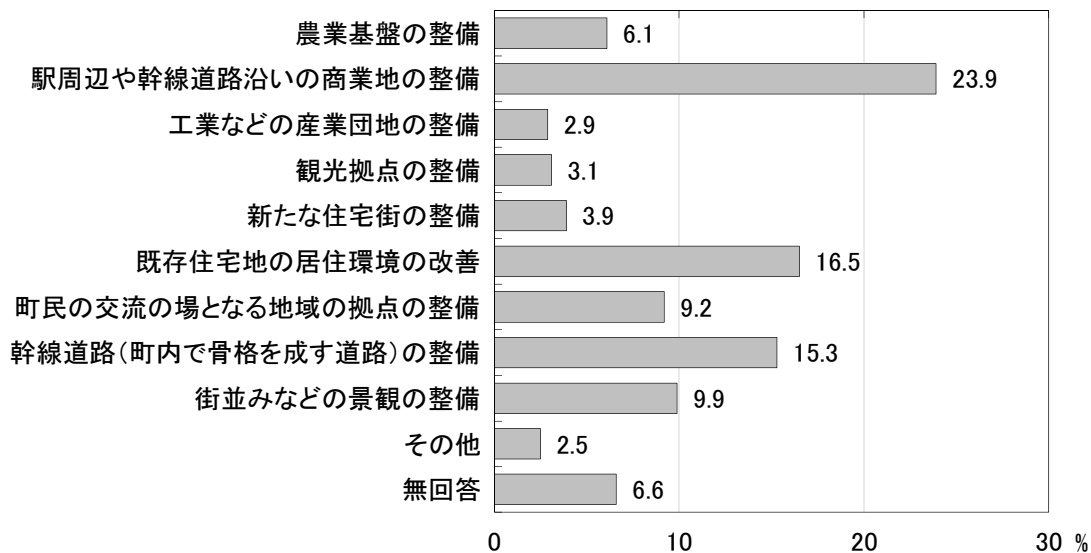
単位：%	買い物が便利なまち	文化・芸術活動が盛んなまち	学校教育が充実したまち	福祉（高齢者・障がい者など）が充実したまち	子育てがしやすいまち	災害に強いまち	犯罪がおこらないまち	わからない	その他	無回答
全体(n=836)	20.9	5.0	12.4	28.6	22.4	15.9	32.4	0.5	1.1	1.4
20歳代(n=66)	25.8	12.1	9.1	6.1	31.8	10.6	31.8	1.5	—	1.5
30歳代(n=159)	27.7	2.5	27.0	11.9	45.9	13.2	34.6	—	1.9	0.6
40歳代(n=169)	19.5	3.0	13.6	23.7	23.7	17.8	40.8	—	1.2	1.2
50歳代(n=104)	14.4	7.7	11.5	35.6	16.3	20.2	30.8	—	—	1.0
60歳代(n=195)	20.5	5.6	7.7	42.6	12.3	16.9	29.7	0.5	1.0	0.5
70歳代以上(n=137)	18.2	4.4	3.6	40.1	8.0	14.6	26.3	1.5	1.5	3.6

問 19 伊奈町のこれからのまちづくりの中で何を重点的に整備していくことが望めますか。
(それぞれ○は1つ)

(1)町の発展基盤の整備

町の基盤発展で重点的な整備が望まれることについては、「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が23.9%と最も高く、次いで「既存住宅地の居住環境の改善」が16.5%、「幹線道路（町内で骨格を成す道路）の整備」が15.3%となっています。

問19-(1) (単数回答) n=836



■問 19（１）× 性別、年代別、地域別

性別でみると、男女ともに「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が最も高くなっています。また、男性では「幹線道路（町内で骨格を成す道路）の整備」が、女性では「既存住宅地の居住環境の改善」が次いで高くなっています。

年代別でみると、20 歳代から 50 歳代では「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が、60 歳代では「既存住宅地の居住環境の改善」が、70 歳代以上では「幹線道路（町内で骨格を成す道路）の整備」が最も高くなっています。また、70 歳代以上では「町民の交流の場となる地域の拠点の整備」が 19.7%と他の年代に比べて高くなっています。

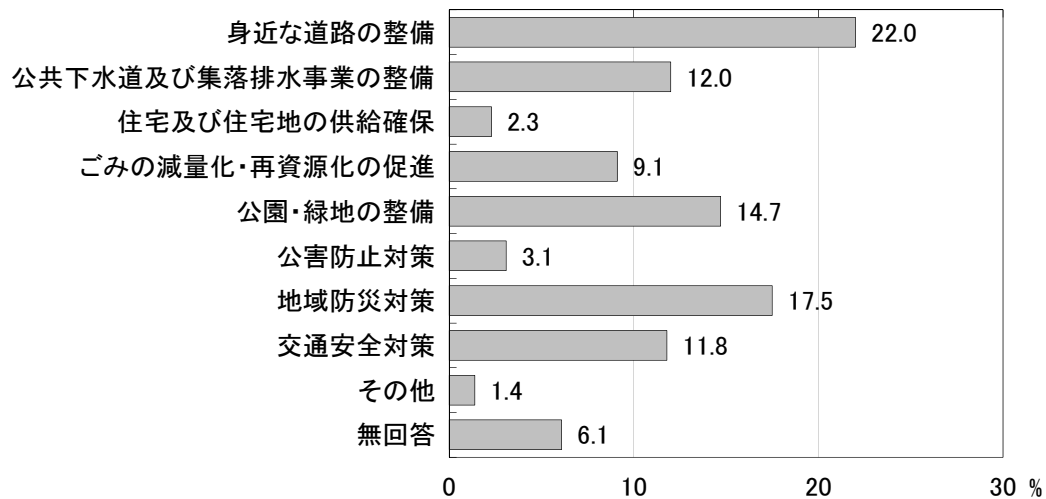
地域別でみると、北部地域、中部地域では「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が、南部地域では「既存住宅地の居住環境の改善」が最も高くなっています。

単位：％	農業 基盤の 整備	駅周 辺や 幹線 道路 沿い の 整備	工 業 な ど の 産 業 団 地 の 整備	観 光 拠 点 の 整備	新 た な 住 宅 街 の 整備	改 善 既 存 住 宅 地 の 居 住 環 境 の	地 域 の 交 流 の 場 と な る の 整備	成 す 幹 線 道 路 （ 町 内 で 骨 格 を 成 す 道 路 ） の 整備	街 並 み な ど の 景 観 の 整備	そ の 他	無 回 答
全体(n=836)	6.1	23.9	2.9	3.1	3.9	16.5	9.2	15.3	9.9	2.5	6.6
男性(n=374)	5.6	21.9	4.0	4.3	4.5	15.8	9.4	18.4	7.5	2.1	6.4
女性(n=452)	6.4	25.4	2.0	2.2	3.5	17.3	9.1	12.6	12.2	2.7	6.6
20歳代(n=66)	9.1	42.4	—	4.5	1.5	10.6	7.6	9.1	9.1	3.0	3.0
30歳代(n=159)	6.9	32.7	1.9	6.3	2.5	14.5	8.8	10.1	9.4	2.5	4.4
40歳代(n=169)	4.7	29.6	4.1	1.8	4.1	16.0	4.1	17.2	10.7	3.0	4.7
50歳代(n=104)	3.8	27.9	1.9	1.9	4.8	18.3	4.8	11.5	12.5	2.9	9.6
60歳代(n=195)	6.2	13.3	5.1	2.6	3.6	21.0	9.7	15.9	11.8	2.6	8.2
70歳代以上(n=137)	6.6	8.8	1.5	2.2	6.6	14.6	19.7	24.1	5.8	1.5	8.8
北部地域(n=370)	5.9	30.0	3.0	3.8	3.5	12.7	10.0	13.0	10.3	1.9	5.9
中部地域(n=220)	5.5	21.8	3.2	2.3	4.5	19.1	7.7	16.8	9.5	2.7	6.8
南部地域(n=237)	6.3	16.5	2.5	3.0	4.2	19.8	9.7	17.7	9.7	3.4	7.2

(2)生活環境の整備

生活環境で重点的な整備が望まれることについては、「身近な道路の整備」が22.0%と最も高く、次いで「地域防災対策」が17.5%、「公園・緑地の整備」が14.7%となっています。

問19-(2) (単数回答) n=836



■問 19 (2) × 性別、年代別、地域別

性別でみると、男女ともに「身近な道路の整備」が最も高くなっています。また、男性では「公園・緑地の整備」が、女性では「地域防災対策」が次いで高くなっています。

年代別でみると、20 歳代、40 歳代、60 歳代以上では「身近な道路の整備」が、30 歳代では「公園・緑地の整備」が、50 歳代では「地域防災対策」が最も高くなっています。また、20 歳代から 40 歳代では「交通安全対策」が高く、50 歳代以上では「公共下水道及び集落排水事業の整備」が高くなっています。

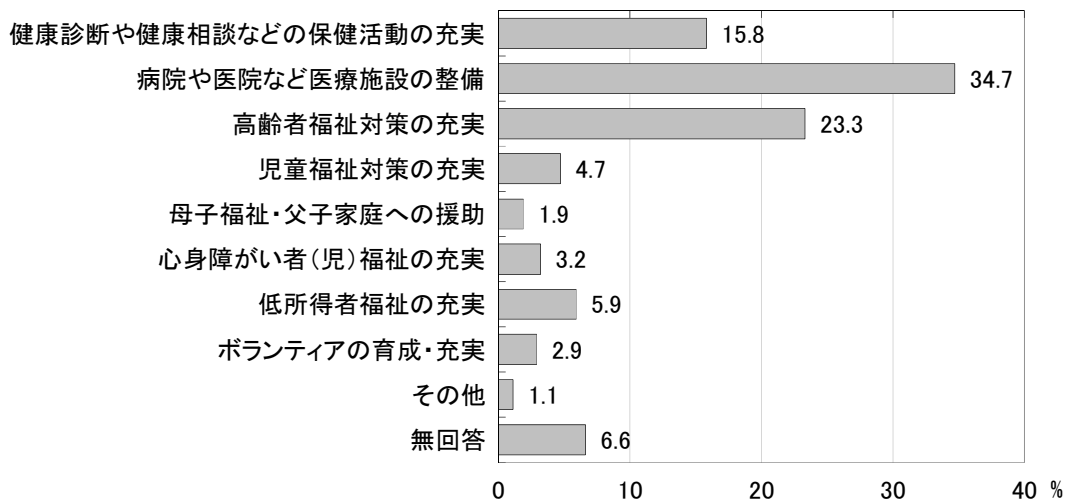
地域別でみると、すべての地域で「身近な道路の整備」が最も高くなっています。また、北部地域では「交通安全対策」が他の地域に比べて高くなっています。

単位：%	身近な道路の整備	公共下水道及び集落排水事業の整備	住宅及び住宅地の供給確保	ごみの減量化・再資源化の促進	公園・緑地の整備	公害防止対策	地域防災対策	交通安全対策	その他	無回答
全体(n=836)	22.0	12.0	2.3	9.1	14.7	3.1	17.5	11.8	1.4	6.1
男性(n=374)	22.7	12.6	2.4	7.8	15.8	3.5	15.2	11.5	2.1	6.4
女性(n=452)	21.7	11.1	2.2	10.0	13.7	2.9	19.7	12.4	0.9	5.5
20歳代(n=66)	25.8	10.6	—	3.0	12.1	6.1	18.2	21.2	1.5	1.5
30歳代(n=159)	20.8	3.8	3.1	8.8	21.4	3.8	17.0	13.2	2.5	5.7
40歳代(n=169)	22.5	7.7	2.4	11.8	12.4	3.0	20.1	17.2	0.6	2.4
50歳代(n=104)	16.3	17.3	1.0	10.6	14.4	1.0	21.2	8.7	1.0	8.7
60歳代(n=195)	23.1	16.4	3.1	9.2	12.8	3.1	16.9	6.7	1.5	7.2
70歳代以上(n=137)	24.1	16.8	2.2	8.0	13.1	2.9	13.1	8.8	1.5	9.5
北部地域(n=370)	20.3	8.1	2.2	7.8	16.2	2.7	19.2	15.9	1.6	5.9
中部地域(n=220)	22.3	15.0	2.7	11.4	15.9	3.6	12.7	10.0	0.5	5.9
南部地域(n=237)	24.1	14.8	2.1	9.3	11.4	3.4	19.4	7.6	2.1	5.9

(3)福祉と健康の増進

福祉と健康の増進で重点的な整備が望まれることについては、「病院や医院など医療施設の整備」が34.7%と最も高く、次いで「高齢者福祉対策の充実」が23.3%、「健康診断や健康相談などの保健活動の充実」が15.8%となっています。

問19-(3) (単数回答) n=836



■問 19 (3) × 性別、年代別、地域別

性別でみると、男女ともに「病院や医院など医療施設の整備」が最も高くなっています。また、「高齢者福祉対策の充実」では、男性が28.1%と女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、20歳代から60歳代では「病院や医院など医療施設の整備」が、70歳代以上では「高齢者福祉対策の充実」が最も高くなっています。また、「病院や医院など医療施設の整備」では年齢が上がるにつれて割合は低くなっています。

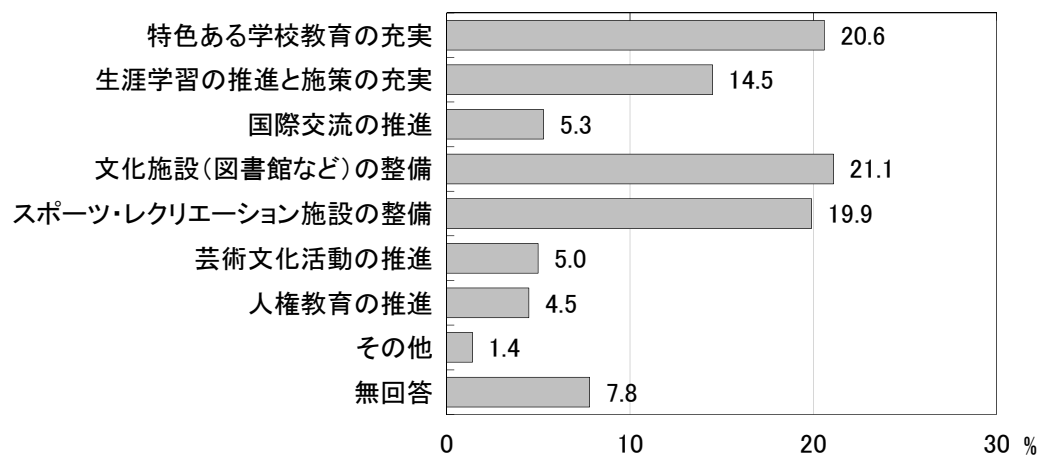
地域別でみると、北部地域、中部地域では「病院や医院など医療施設の整備」が、南部地域では「高齢者福祉対策の充実」が最も高くなっています。また、「病院や医院など医療施設の整備」では、北部地域で他の地域に比べて高くなっています。

単位：%	の健康診断や健康相談などの保健活動の充実	の病院や医院など医療施設の整備	高齢者福祉対策の充実	児童福祉対策の充実	母子福祉・父子家庭への援助	の心身障がい者（児）福祉の充実	低所得者福祉の充実	充実ボランティアの育成・	その他	無回答
全体(n=836)	15.8	34.7	23.3	4.7	1.9	3.2	5.9	2.9	1.1	6.6
男性(n=374)	14.7	30.7	28.1	5.1	2.1	3.2	5.1	2.9	1.6	6.4
女性(n=452)	16.4	38.5	19.5	4.4	1.8	3.3	6.4	2.9	0.7	6.2
20歳代(n=66)	18.2	43.9	13.6	6.1	7.6	－	1.5	4.5	1.5	3.0
30歳代(n=159)	17.6	43.4	9.4	11.9	1.3	4.4	3.8	0.6	1.3	6.3
40歳代(n=169)	17.2	41.4	18.3	4.1	1.2	5.9	5.3	2.4	－	4.1
50歳代(n=104)	19.2	34.6	26.0	2.9	－	1.0	5.8	1.0	1.0	8.7
60歳代(n=195)	12.3	31.8	28.2	2.1	2.1	2.1	7.2	6.2	2.1	6.2
70歳以上(n=137)	13.1	16.8	40.9	1.5	2.2	2.9	9.5	2.2	0.7	10.2
北部地域(n=370)	12.7	43.2	20.8	4.9	1.4	3.8	4.6	1.9	0.8	5.9
中部地域(n=220)	17.7	31.4	25.5	5.5	2.3	1.8	5.9	2.7	0.9	6.4
南部地域(n=237)	19.0	24.9	25.3	3.8	2.5	3.8	7.6	4.2	1.7	7.2

(4)教育・文化の向上

教育・文化の向上で重点的な整備が望まれることについては、「文化施設（図書館など）の整備」が21.1%と最も高く、次いで「特色ある学校教育の充実」が20.6%、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が19.9%となっています。

問19-(4) (単数回答) n=836



■問 19 (4) × 性別、年代別、地域別

性別でみると、男性では「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が、女性では「特色ある学校教育の充実」が最も高くなっています。また、男性では「生涯学習の推進と施策の充実」が女性に比べて高く、女性では「文化施設（図書館など）の整備」が男性に比べて高くなっています。

年代別でみると、20 歳代、40 歳代、60 歳代では「文化施設（図書館など）の整備」が、30 歳代では「特色ある学校教育の充実」が、50 歳代では「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が、70 歳代以上では「生涯学習の推進と施策の充実」が最も高くなっています。

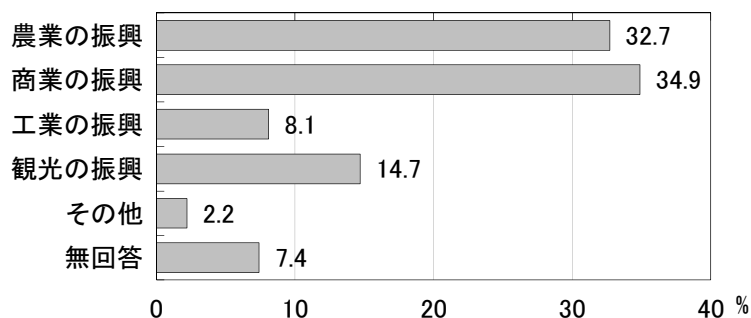
地域別でみると、北部地域と中部地域では「特色ある学校教育の充実」が、南部地域では「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が最も高くなっています。また、南部地域では「生涯学習の推進と施策の充実」が他の地域に比べて高くなっています。

単位：％	特色ある学校教育の充実	生涯学習の推進と施策の充実	国際交流の推進	文化施設（図書館など）の整備	スポーツ・レクリエーション施設の整備	芸術文化活動の推進	人権教育の推進	その他	無回答
全体(n=836)	20.6	14.5	5.3	21.1	19.9	5.0	4.5	1.4	7.8
男性(n=374)	16.3	19.0	5.1	18.7	24.1	4.5	3.2	2.1	7.0
女性(n=452)	24.1	10.4	5.5	23.2	16.4	5.3	5.8	0.9	8.4
20歳代(n=66)	19.7	13.6	3.0	25.8	24.2	3.0	7.6	－	3.0
30歳代(n=159)	29.6	6.3	6.9	20.1	23.3	1.9	4.4	3.1	4.4
40歳代(n=169)	21.3	16.6	5.9	23.1	17.2	3.6	6.5	1.2	4.7
50歳代(n=104)	15.4	12.5	6.7	20.2	24.0	8.7	5.8	1.0	5.8
60歳代(n=195)	18.5	17.4	3.1	22.1	16.4	7.2	3.1	1.5	10.8
70歳代以上(n=137)	16.8	18.2	5.8	17.5	17.5	5.8	2.2	0.7	15.3
北部地域(n=370)	23.0	13.0	4.1	22.7	20.3	4.3	3.8	1.6	7.3
中部地域(n=220)	20.5	11.8	7.3	21.4	20.0	5.9	4.1	1.8	7.3
南部地域(n=237)	16.5	19.0	5.1	18.6	19.4	5.5	6.3	0.8	8.9

(5)地域産業の振興

地域産業の振興で重点的な整備が望まれることについては、「商業の振興」が34.9%と最も高く、次いで「農業の振興」が32.7%、「観光の振興」が14.7%となっています。

問19-(5) (単数回答) n=836



■問 19 (5) × 性別、年代別、地域別

性別でみると、男性では「商業の振興」が、女性では「農業の振興」と「商業の振興」が最も高くなっています。また、男性では「工業の振興」が女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代で「商業の振興」が、50歳代と70歳代以上では「農業の振興」が最も高くなっています。また、年代が上がるにつれて「商業の振興」の割合が低くなっています。

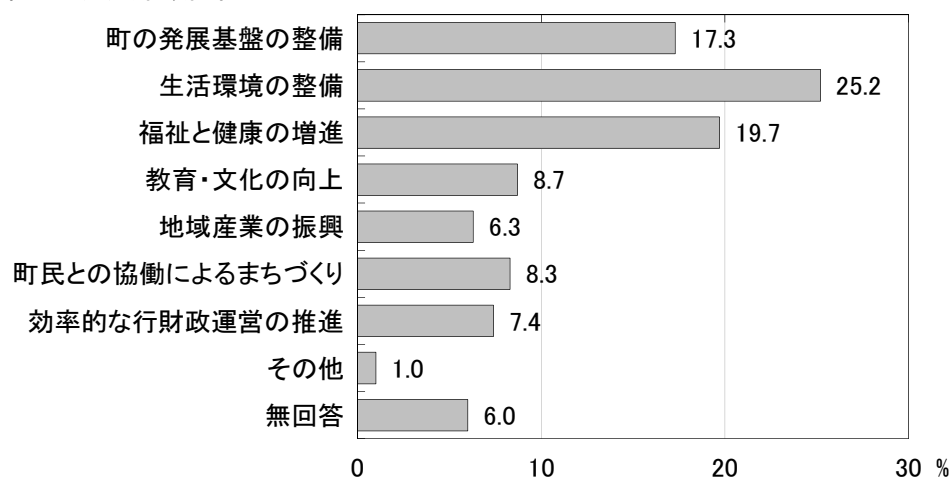
地域別でみると、北部地域では「商業の振興」が、中部地域と南部地域では「農業の振興」が最も高くなっています。また、北部地域では「商業の振興」が、南部地域では「農業の振興」が他の地域に比べて高くなっています。

単位: %	農業 の 振興	商業 の 振興	工業 の 振興	観光 の 振興	その他	無 回 答
全体(n=836)	32.7	34.9	8.1	14.7	2.2	7.4
男性(n=374)	29.7	34.8	11.8	16.0	2.4	5.3
女性(n=452)	35.4	35.4	5.3	13.3	2.0	8.6
20歳代(n=66)	36.4	43.9	1.5	15.2	—	3.0
30歳代(n=159)	32.7	40.9	8.2	13.2	1.3	3.8
40歳代(n=169)	34.9	40.8	8.3	9.5	1.8	4.7
50歳代(n=104)	33.7	31.7	6.7	20.2	1.0	6.7
60歳代(n=195)	29.2	32.8	10.3	14.9	4.1	8.7
70歳代以上(n=137)	32.1	21.9	9.5	18.2	2.9	15.3
北部地域(n=370)	26.8	42.7	7.0	15.4	1.4	6.8
中部地域(n=220)	31.8	31.4	10.5	15.9	2.7	7.7
南部地域(n=237)	42.6	27.0	8.0	11.8	3.0	7.6

(6)特に重点的に進めるべき部門

特に重点的に進めるべき部門については、「生活環境の整備」が25.2%と最も高く、次いで「福祉と健康の増進」が19.7%、「町の発展基盤の整備」が17.3%となっています。

問19-(6) (単数回答) n=836



■問 19（6）× 性別、年代別、地域別

性別でみると、男女ともに「生活環境の整備」が最も高くなっています。また、男性では「町の発展基盤の整備」が、女性では「福祉と健康の増進」が次いで高くなっています。

年代別でみると、20 歳代から 60 歳代では「生活環境の整備」が、70 歳代以上では「福祉と健康の増進」が最も高くなっています。また、30 歳代では「教育・文化の向上」が 17.0% と他の年代に比べて高くなっています。

地域別でみると、北部地域と中部地域では「生活環境の整備」が、南部地域では「福祉と健康の増進」が最も高くなっています。

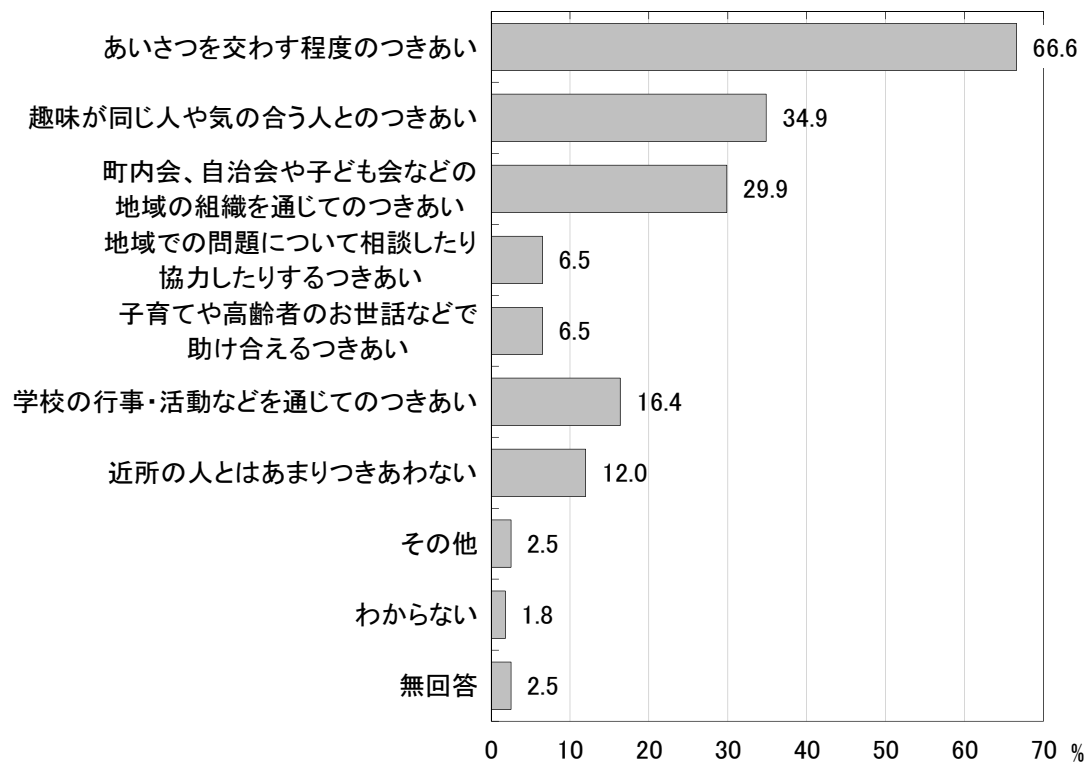
単位：%	町の発展基盤の整備	生活環境の整備	福祉と健康の増進	教育・文化の向上	地域産業の振興	まちづくりの協働による	推進的な行政運営の	その他	無回答
全体(n=836)	17.3	25.2	19.7	8.7	6.3	8.3	7.4	1.0	6.0
男性(n=374)	19.8	23.3	16.8	6.7	8.0	10.4	8.0	1.3	5.6
女性(n=452)	15.5	27.4	22.1	10.6	5.1	5.8	6.9	0.7	6.0
20歳代(n=66)	16.7	34.8	10.6	9.1	13.6	7.6	4.5	—	3.0
30歳代(n=159)	17.6	25.2	22.0	17.0	6.3	5.0	1.9	1.9	3.1
40歳代(n=169)	16.6	29.6	18.3	9.5	6.5	6.5	8.9	0.6	3.6
50歳代(n=104)	18.3	28.8	17.3	6.7	4.8	8.7	9.6	—	5.8
60歳代(n=195)	16.9	21.5	20.5	4.6	5.1	10.8	11.3	2.1	7.2
70歳以上(n=137)	18.2	18.2	24.8	5.8	5.8	9.5	5.8	—	11.7
北部地域(n=370)	16.5	26.2	19.5	12.2	5.9	5.7	6.5	1.6	5.9
中部地域(n=220)	15.9	29.5	19.5	6.4	6.8	8.2	6.4	0.5	6.8
南部地域(n=237)	20.3	20.3	20.7	5.5	6.3	11.8	9.7	0.4	5.1

4 まちづくりへの参加と協力についておたずねします。

問 20 あなたは現在、地域でどのようなつきあいをしていますか。(〇は3つまで)

地域でのつきあいの程度については、「あいさつを交わす程度のつきあい」が66.6%と最も高く、次いで「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」が34.9%、「町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい」が29.9%となっています。

問20 (複数回答) n=836



■問 20 × 性別、年代別、地域別

年代別でみると、男女ともに「あいさつを交わす程度のつきあい」が最も高くなっています。また、「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」と「学校の行事・活動などを通じてのつきあい」で女性が男性を 10 ポイント以上上回っています。

年代別でみると、すべての年代で「あいさつを交わす程度のつきあい」が最も高くなっています。また、「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」と「町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい」では、年代が上がるにつれて割合も高くなっています。さらに、「学校の行事・活動などを通じてのつきあい」では、30 歳代と 40 歳代で他の年代に比べて高くなっています。

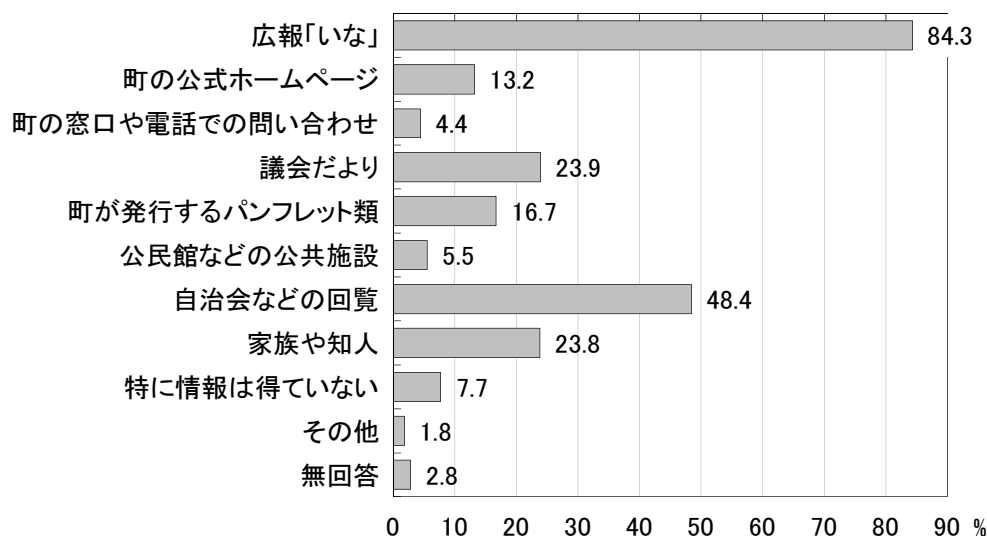
地域別でみると、すべての地域で「あいさつを交わす程度のつきあい」が最も高くなっています。また、「町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい」では、南部地域で他の地域に比べて割合が高くなっています。

単位：%	あいさつを交わす程度のつきあい	趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい	町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい	協域での問題について相談したり	助け合えるつきあい	子育てや高齢者のお世話などで	学校の行事・活動などを通じてのつきあい	近所の人とはあまりつきあわない	その他	わからない	無回答
全体(n=836)	66.6	34.9	29.9	6.5	6.5	16.4	12.0	2.5	1.8	2.5	
男性(n=374)	67.4	29.4	33.2	8.3	4.5	10.2	13.1	2.1	2.7	2.4	
女性(n=452)	66.2	39.4	27.7	4.9	8.2	21.9	11.1	2.7	0.9	2.4	
20歳代(n=66)	65.2	16.7	10.6	1.5	3.0	10.6	33.3	—	1.5	1.5	
30歳代(n=159)	72.3	27.0	23.9	3.8	8.8	30.8	7.5	3.1	2.5	0.6	
40歳代(n=169)	69.2	25.4	28.4	4.7	7.7	36.7	11.2	1.2	0.6	0.6	
50歳代(n=104)	69.2	35.6	27.9	4.8	4.8	7.7	10.6	1.0	1.9	1.0	
60歳代(n=195)	66.2	43.1	38.5	8.7	5.1	3.6	9.7	4.1	2.1	4.1	
70歳代以上(n=137)	55.5	51.8	38.0	12.4	7.3	2.9	12.4	3.6	1.5	5.8	
北部地域(n=370)	69.7	32.4	24.9	5.9	8.1	19.2	11.4	1.6	1.4	2.2	
中部地域(n=220)	66.8	34.5	26.8	6.8	5.9	16.8	10.9	3.2	2.3	2.7	
南部地域(n=237)	61.2	38.8	40.9	7.2	4.6	12.2	13.9	3.4	1.7	2.5	

問 21 あなたは、町の行事や行政サービスの情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

町の行事や行政サービスの情報源については、「広報『いな』」が84.3%と最も高く、次いで「自治会などの回覧」が48.4%、「議会だより」が23.9%となっています。

問21（複数回答）n=836



■問 21 × 年代別

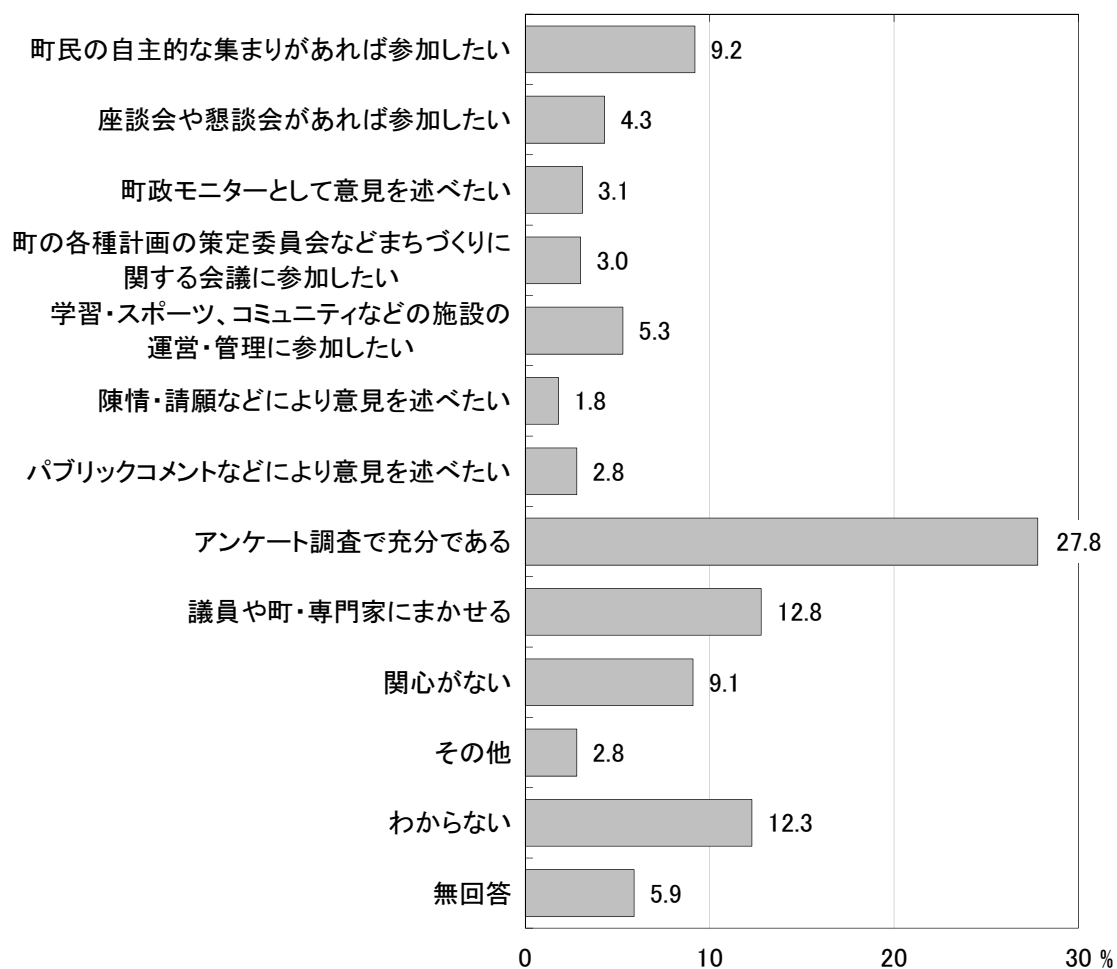
年代別でみると、すべての年代で「広報『いな』」が最も高くなっています。また、20歳代では「自治会などの回覧」が18.2%と他の年代に比べて低く、「家族や知人」が他の年代に比べて高くなっています。また、「議会だより」では年代が上がるにつれて割合も高くなっています。

単位：%	広報「いな」	町の公式ホームページ	町の窓口や電話での問い合わせ	議会だより	町が発行するパンフレット類	公民館などの公共施設	自治会などの回覧	家族や知人	特に情報は得ていない	その他	無回答
全体(n=836)	84.3	13.2	4.4	23.9	16.7	5.5	48.4	23.8	7.7	1.8	2.8
20歳代(n=66)	66.7	18.2	1.5	4.5	12.1	1.5	18.2	40.9	15.2	7.6	1.5
30歳代(n=159)	83.0	18.2	3.1	11.9	10.7	5.7	37.7	28.3	8.8	1.9	0.6
40歳代(n=169)	87.6	17.2	4.1	24.3	11.8	5.3	42.0	24.9	6.5	0.6	1.2
50歳代(n=104)	89.4	14.4	6.7	28.8	17.3	2.9	63.5	12.5	8.7	1.9	1.9
60歳代(n=195)	85.6	9.2	3.6	27.2	20.0	5.1	60.0	21.5	4.6	0.5	5.1
70歳代以上(n=137)	84.7	4.4	7.3	38.7	26.3	10.2	55.5	21.9	7.3	2.2	5.1

問 22 町政への参加について、あなたはどのような考えをお持ちですか。(○は1つ)

町政への参加については、「アンケート調査で充分である」が27.8%と最も高く、次いで「議員や町・専門家にまかせる」が12.8%、「わからない」が12.3%となっています。

問22 (単数回答) n=836



■問 22 × 性別、年代別

性別でみると、男女ともに「アンケート調査で充分である」が最も高く、女性が男性を約15ポイント上回っています。

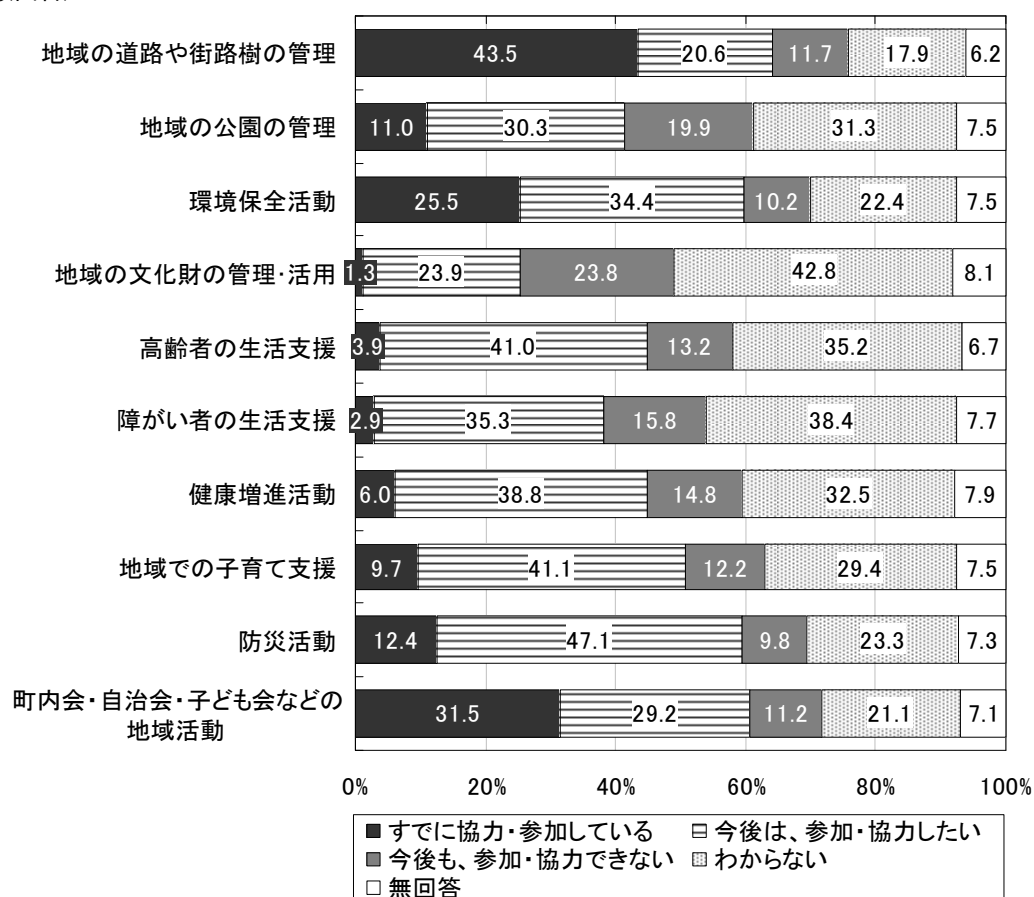
年代別でみると、20歳代から60歳代では「アンケート調査で充分である」が最も高くなっています。また、70歳代以上では「町民の自主的な集まりがあれば参加したい」と「議員や町・専門家にまかせる」が最も高くなっています。また、20歳代では「わからない」が他の年代に比べて高くなっています。

単位：％	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	座談会や懇談会があれば参加したい	町政モニターとして意見を述べたい	町の各種計画の策定委員会などまちづくりに関する会議に参加したい	学習・スポーツ、コミュニティなどの施設の運営・管理に参加したい	陳情・請願などにより意見を述べたい	パブリックコメントなどにより意見を述べたい	アンケート調査で充分である	議員や町・専門家にまかせる	関心がない	その他	わからない	無回答
全体(n=836)	9.2	4.3	3.1	3.0	5.3	1.8	2.8	27.8	12.8	9.1	2.8	12.3	5.9
男性(n=374)	9.6	7.5	2.9	5.6	5.9	2.1	3.7	20.3	11.5	11.8	2.9	9.9	6.1
女性(n=452)	8.4	1.8	3.1	0.9	4.4	1.5	2.0	34.5	14.2	6.6	2.7	14.6	5.3
20歳代(n=66)	—	3.0	3.0	1.5	3.0	—	—	37.9	9.1	16.7	3.0	21.2	1.5
30歳代(n=159)	5.0	1.3	4.4	1.9	8.2	5.0	4.4	30.8	9.4	10.7	3.1	12.6	3.1
40歳代(n=169)	4.7	5.3	4.7	2.4	5.3	1.8	4.1	38.5	8.3	7.7	3.6	10.7	3.0
50歳代(n=104)	7.7	4.8	3.8	3.8	4.8	2.9	2.9	32.7	13.5	5.8	2.9	10.6	3.8
60歳代(n=195)	12.3	4.1	2.1	4.1	5.1	0.5	2.6	19.5	15.4	9.2	2.6	13.3	9.2
70歳代以上(n=137)	20.4	7.3	0.7	3.6	2.9	—	0.7	15.3	20.4	6.6	1.5	9.5	10.9

問 23 これからの社会では、町民の皆さまと町が対等の立場で役割分担しながら、町民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていくことが必要です。それぞれの項目について、これまでに参加・協力したことはありますか。また、参加・協力されたことがない方は、今後の考えについてお答えください。
(それぞれ「1」～「4」の中から○は1つ)

各種活動への参加経験・参加意向については、「すでに協力・参加している」では、〈地域の道路や街路樹の管理〉が43.5%と最も高く、次いで〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が31.5%、〈環境保全活動〉が25.5%となっています。また、「今後は、参加・協力したい」では、〈防災活動〉が47.1%と最も高く、次いで〈地域での子育て支援〉が41.1%、〈高齢者の生活支援〉が41.0%となっています。

問23 (単数回答) n=836

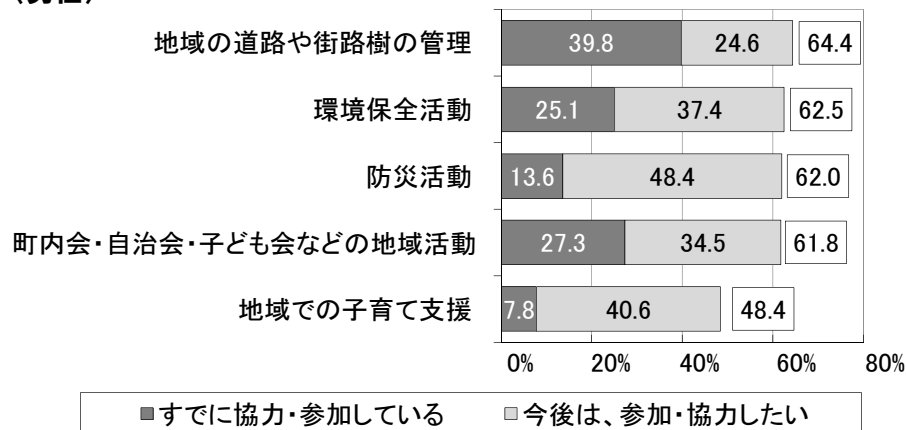


■問 23 × 性別(上位5項目)

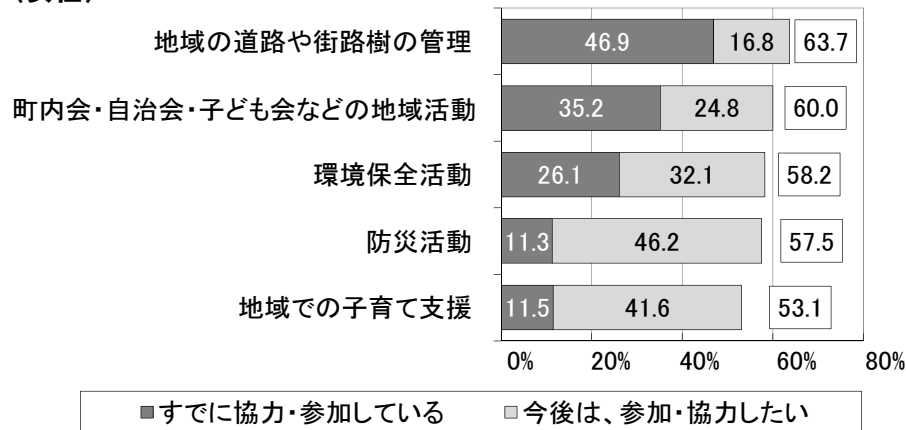
性別でみると、男性では、「すでに協力・参加している」と「今後は、参加・協力したい」を合わせた『参加の意思がある』は、「地域の道路や街路樹の管理」が66.4%と最も高く、次いで「環境保全活動」が62.5%、「防災活動」が62.0%となっています。

女性では、『参加の意思がある』は、「地域の文化財の管理・活用」が63.7%と最も高く、次いで「障がい者の生活支援」が60.0%、「地域の公園の管理」が58.2%となっています。

〈男性〉



〈女性〉

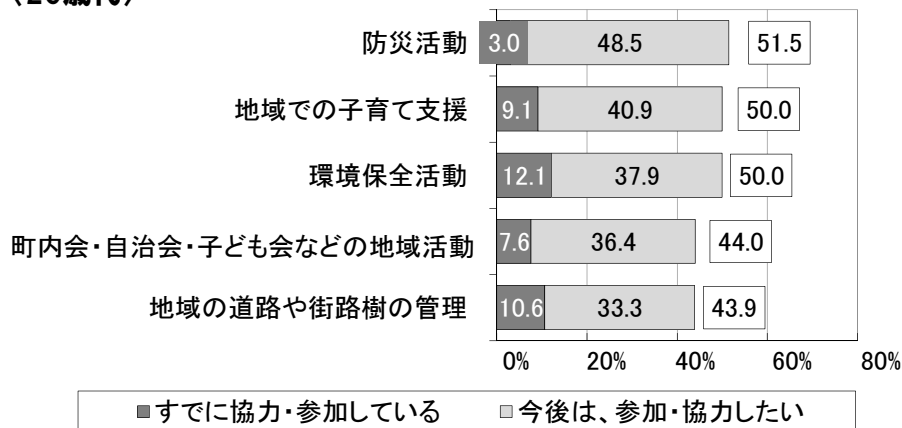


■問 23 × 年代別(上位5項目)

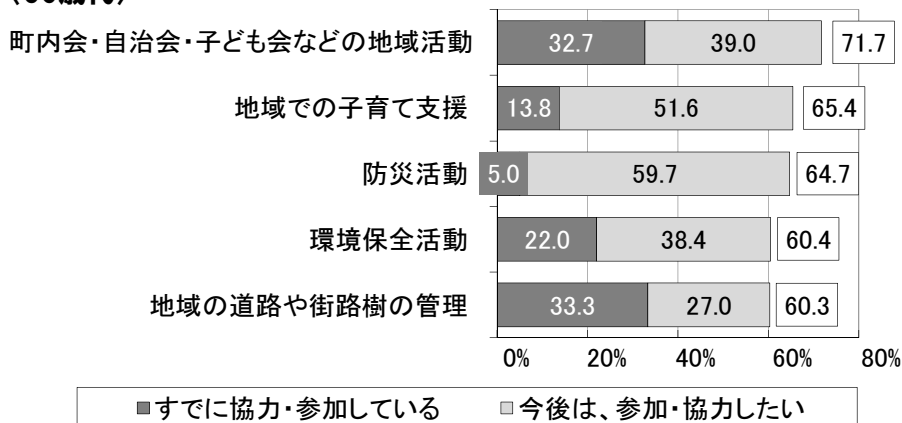
年代別でみると、『参加の意思がある』は、20 歳代と 50 歳代以上で「地域の文化財の管理・活用」が、30 歳代で「町内会・自治会・子ども会などの地域活動」が、40 歳代で「障がい者の生活支援」が最も高くなっています。

また、20 歳代では『参加の意思がある』の割合が全体的に低くなっています。

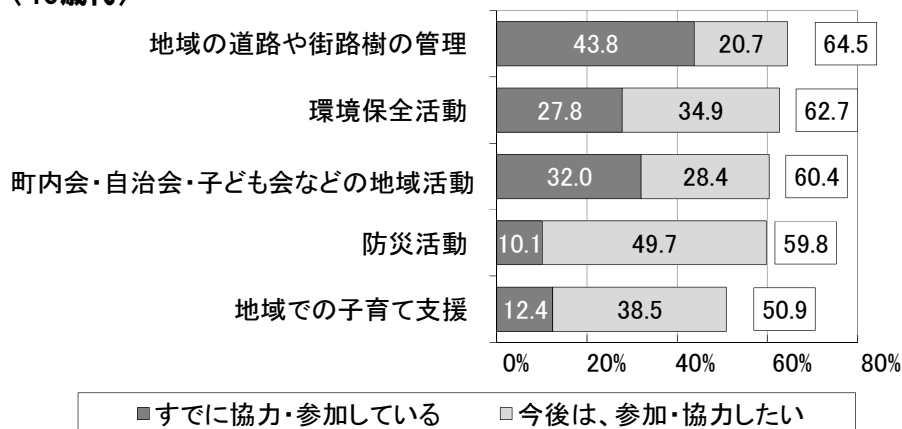
〈20歳代〉



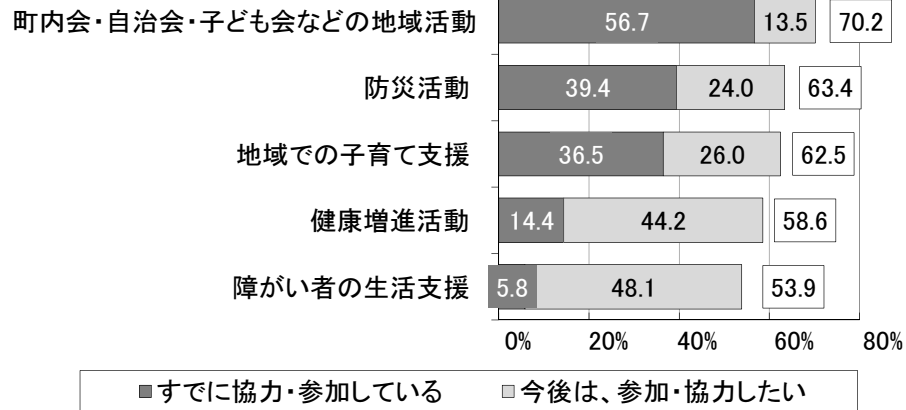
〈30歳代〉



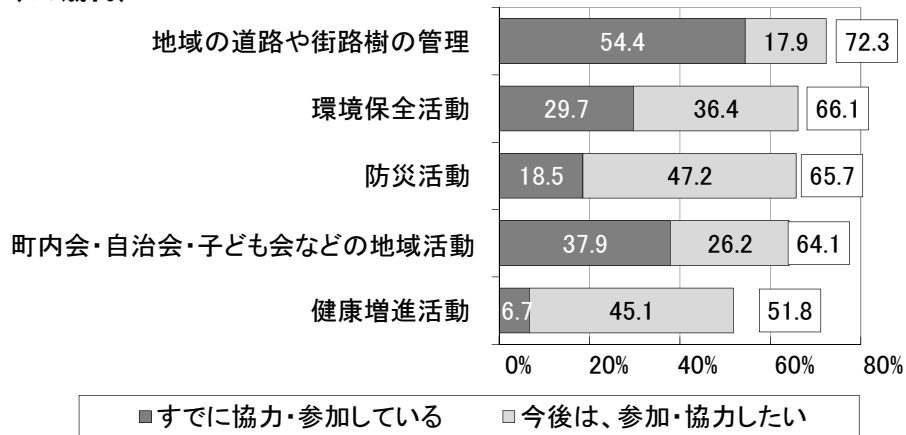
〈40歳代〉



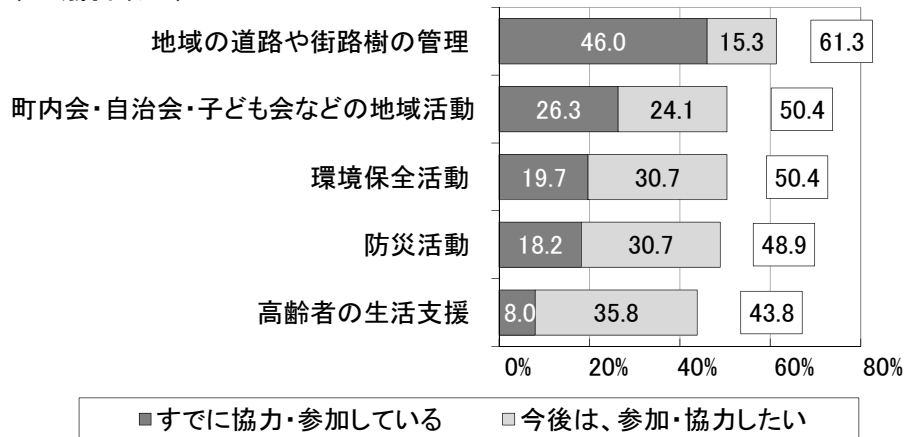
〈50歳代〉



〈60歳代〉



〈70歳代以上〉



■問 23 × 地域別(上位5項目)

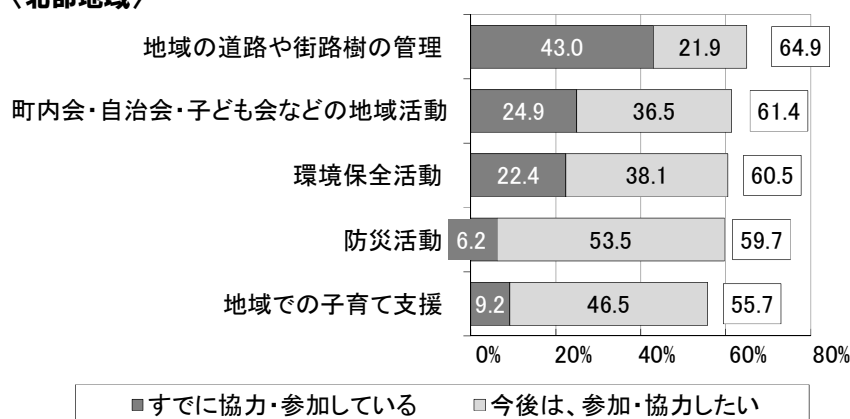
地域別でみると、北部地域では、『参加の意思がある』は、「地域の道路や街路樹の管理」が64.9%と最も高く、次いで「町内会・自治会・子ども会などの地域活動」が61.4%、「環境保全活動」が60.5%となっています。

中部地域では、『参加の意思がある』は、「地域の道路や街路樹の管理」が61.9%と最も高く次いで「町内会・自治会・子ども会などの地域活動」と「防災活動」が53.6%となっています。

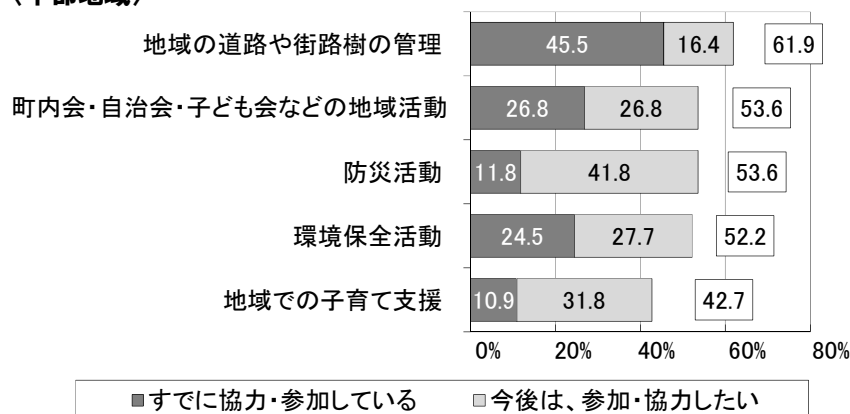
南部地域では、『参加の意思がある』は、「環境保全活動」が67.1%と最も高く次いで「町内会・自治会・子ども会などの地域活動」が66.6%、「地域の道路や街路樹の管理」が66.2%となっています。

また、「町内会・自治会・子ども会などの地域活動」については、南部地域で「すでに参加・協力している」が高くなっています。

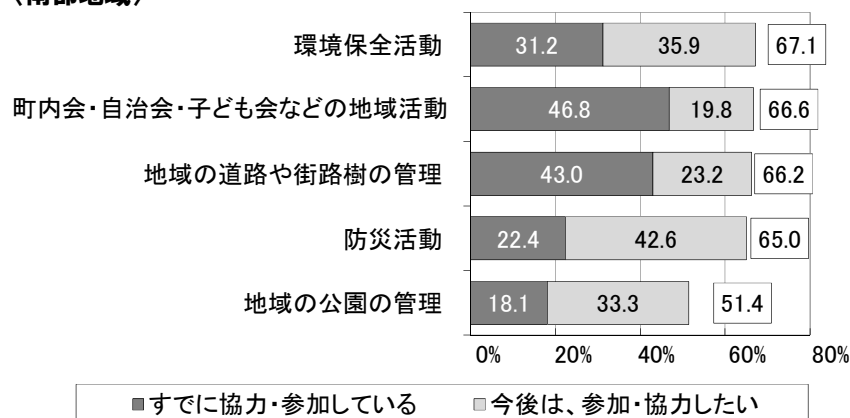
〈北部地域〉



〈中部地域〉



〈南部地域〉



Ⅲ 自由回答

1 今後の伊奈町のまちづくりに対するお考えについて

(1) 分野別の分類

今回の住民意識調査の中で、伊奈町のまちづくりについて 262 人の方から延べ 373 件のご意見をいただきました。分野ごとに分類すると以下のようになります。

分野	件数
① 都市基盤について	95 件
② 自然環境について	26 件
③ 医療・福祉について	55 件
④ 教育・文化・スポーツについて	32 件
⑤ 防災・防犯・安全について	26 件
⑥ 産業について	65 件
⑦ 協働・交流について	19 件
⑧ 町制について	30 件
⑨ その他	25 件
合計	373 件

(2) 自由回答の抜粋

以下、分野ごとに、いくつかご意見をご紹介します。

① 都市基盤について

性別	年代	居住地域	ご意見
男性	30 歳代	北部地域	駅へ行くバスがあれば便利だと思う。 駅前開発に期待する。 ニューシャトルの運賃値下げと、全駅にエレベーターの設置をお願いしたい。
男性	70 歳代以上	南部地域	コミュニティバスの充実をお願いしたい。
女性	50 歳代	北部地域	新築住宅が増えてきた。朝、通勤時のニューシャトルがすごいラッシュになっているようだ。今後も人口が増える見込みがあるなら、交通手段（例えば上尾行きのバスを増便するなど）を考えなければならないと思う。
女性	30 歳代	北部地域	整備されている道路とそうでない道路の差が大きい。農道も早く整備を完了し、安心して自転車や人が通れるようにしてほしい。
女性	70 歳代以上	北部地域	古い道路は細く、見通しが悪い所が多いので、広くできるところは拡幅してほしい。できない所にはミラーや注意標識を設置してほしい。

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	40 歳代	北部地域	公園が少ないと思う。子どもを自宅前の道路で遊ばせている親が多く危ないし、運転していて事故にならないか心配になる（小針周辺）。
女性	50 歳代	中部地域	道路が狭い。 車いす利用者や子どもが安心して通行できるような広い歩道をつくるべき。 小室小学校周辺の道路環境が悪い。 下水道整備を早急をお願いしたい。
男性	30 歳代	中部地域	人の生活に必要な所（身近な所）から考えてほしい。公園の整備、ニューシャトル駅のエレベーター設置、街灯の設置など、「何に困っているか」を聞き、解決してほしい。
女性	60 歳代	南部地域	空き地の整理など、町全体がきれいだと感じられるようにしてほしい。

② 自然環境について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	40 歳代	中部地域	自然豊かなところが素晴らしいところだと思う。工場や住宅を増やしても、緑地は確保してほしい。
女性	60 歳代	北部地域	伊奈町が発展するのは嬉しいが、緑（梨・桃畑、田畑、雑木林など）がどんどんなくなっているのはとても残念だ。できるだけ残してほしい。梨や桃の花、虫取りなどが懐かしい。
女性	70 歳代以上	南部地域	家が建ち、人口が増えるのは良いことだが、伊奈町の自然は残してほしい。いなほ街道の風景が好きだ。
男性	60 歳代	北部地域	綾瀬川をきれいに、蛍の住める川にしてほしい。
男性	40 歳代	北部地域	東京の通勤圏に取り込まれ仕方がないことだとは思いますが、まちの発展が早すぎると思う。既存の自然や農地など、昔ながらの伊奈町の風景を大切に、美しく貴重な景観を後の世代に残していければ、まちを愛する気持ちが自然にでき、各々が協働にも真剣に取り組めるようになるのではないかな。郷土愛を芽生えさせるようなまちづくりをしてほしい。開発優先では逆効果だと思う。

③ 医療・福祉について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	30 歳代	北部地域	もっと医療機関を増やしてほしい。特に耳鼻科、眼科、皮膚科。
女性	30 歳代	北部地域	産婦人科がなく困っている。子どもを産みやすい環境にしてほしい。
女性	50 歳代	北部地域	人口増加に対する取り組みはされていると思うが、長期的に、高齢化に対する取り組みも進めてほしい。町のサービスよりシステムの構築で、町の活性化にもつながれば良いと思う。
女性	30 歳代	北部地域	伊奈に住んでいる高齢者に優しいまちになってほしい。自分は高齢者が不便に思っていることが何なのかわからないが、アンケートや訪問などで聞いてみれば良いと思う。

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	40 歳代	中部地域	認可保育所を増やしてほしい。自分の周囲にも、働きたくても働けない母親が多い。
女性	40 歳代	南部地域	早急に保育園を増やしてほしい。もっと子どもがほしいと思っても、預け先がなければ産むこともできない。家も購入しているので引っ越すこともできない。
女性	40 歳代	北部地域	とても子どもの多いまちなので、関係施設をもっと充実させてほしい。今の児童館は建物自体が古く、おもちゃも古いものばかりで清潔とは言えない。上尾市では、「あっぱーランド」や「子どもの城」など、小学生になっても遊びに行けるような施設があるのに、伊奈町の児童館は、とても園児や小学生が利用できるようなものではない。車のある家庭では、降園後や放課後に近隣のまちの児童館に向くこともできるが、交通手段がなければ、そんなこともできない。
女性	30 歳代	南部地域	障がいのある人が、入院したり施設に入ったりしたときの手当てがあると良い。入院費だけでお金が足りなくなって困っている。
女性	50 歳代	北部地域	障がい者対象のグループホームやケアホームの設立。高齢者向けのホームは良く見かけるが、近隣の市町村でも全く足りていない状況である。障がい者福祉のさらなる向上を期待している。

④ 教育・文化・スポーツについて

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	40 歳代	北部地域	小学校、中学校の教育について、積極的に取り組んでほしい。小学校の異常な学級数、仮設校舎、学区の整備は問題であると思う。後回しにせず解決する努力をしてほしい。
女性	60 歳代	北部地域	予算があれば学校にエアコンを設置してほしい。
男性	40 歳代	中部地域	せっかく特徴のある学園高校があるので、それを生かして教育のまちとしてはどうか。学生中心の若い人が集まるまちには新しい産業が生まれる可能性もあるし、活気があふれるのではないかな。
女性	40 歳代	北部地域	文化の向上を町の目標としているのであれば、図書館の見直しを図るべきだ。駐車場が狭く、子ども向けの本は少ない。施設内のレイアウトももっと工夫してほしい。文化・知的レベルの高いまちは図書館のクオリティも高い。
女性	70 歳代	南部地域	健康のため、温水プールをつくってほしい。
男性	50 歳代	中部地域	総合体育館の早急な建設をお願いしたい。学校開放ではなく利用できる室内競技場（剣道や柔道）の設備がない。

⑤ 防災・防犯・安全について

性別	年代	居住地域	ご意見
男性	30 歳代	南部地域	人口増加に伴う犯罪防止のため、伊奈警察署の設置もしくは交番設置を願う。空き交番には対策をとってほしい。 街灯を増やして、まちを明るくしてほしい。

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	30 歳代	南部地域	街灯が少なく、帰宅（夜間）にときに不安を感じる。まちの規模からあまり治安が悪いイメージはなかったのだが、空き巣に入られたことがあったり、不審者の貼り紙を見かけると、防犯対策を強化してほしいと思う。
女性	30 歳代	北部	子どもの通学路がとても危険。いつニュースになってもおかしくないと思う。一対一のマナーも大切だが、子どもが多い伊奈町だからこそ、まちづくりとしてスクールゾーン（時間帯によって車両通行止めなど）の設置などを進められないか。通学路の危険については、何年も前から言われ続けられ、町議会便りにも載っていたのに何も改善されない。
女性	60 歳代	中部地域	東日本大震災から学び、伊奈町に住んでいる人に対して、自然災害による弱点（ソフト、ハード）を明確に知らせ、対策を講じてほしい。住宅の耐震化も含む。 河川、水害地区、活断層、がけなど示した災害マップを作してほしい。 より多くの人が集まれるように、避難訓練を工夫する（日時、場所など）。

⑥ 産業について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	30 歳代	北部地域	買い物する場所が少なく困っている。大きなショッピングモールを建設してほしい。
男性	50 歳代	北部地域	先々、町民の倍以上の集客が見込めるような商業、レクリエーション施設を持ち、町政から市政へ変わる。 自慢できるような施設を増やす。
男性	60 歳代	南部地域	農業の活性化が必要だと思う。農業ボランティア組織をつくる。壮年・老年が一堂に会し、意見交換などができるイベントがあってほしい。
女性	70 歳代以上	中部地域	自然環境を守ることはもちろん、食料自給率の向上や働き場の確保の点からも、農業の振興は伊奈町の特色を生かしたまちづくりの柱になる。生産から加工・販売まで、産業としての構想を持ち、人材育成など、行政としても支援策を積極的に打ち出してほしい。
男性	30 歳代	中部地域	自然環境を守り、梨やぶどうなどの伊奈の特産品を絶やさないようなまちづくりをお願いしたい。
女性	50 歳代	中部地域	「バラのまち」としてもう少しアピールして、観光に力を入れてほしい。
男性	60 歳代	北部地域	耕作地や林が住宅業者によって宅地開発されている。町が何をしたいのか、方針が定まっていないように感じる。住宅地ばかりでは住民サービスにばかり重きが置かれ、町の財政は大変なことになってしまう。農・工・商業とのバランスも考えながら開発することが必要。
男性	60 歳代	南部地域	商工業、教育（学校、研究施設など）を積極的に誘致し、まち全体の規模を大きくしていかないと、何の個性もないまちになる。
男性	40 歳代	南部地域	定年から年金をもらえるようになるまでの期間に、賃金をもらって働けるような職場を考えてほしい。何か手に職を付けられるような場もあれば良い。

⑦ 協働・交流について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	20 歳代	北部地域	内宿駅を利用している。毎朝、駅周辺の清掃をしてくれている女性たちに感謝している。 伊奈祭りの、自治体管理の売り物と場の雰囲気が、活があり、地元の人とのつながりがあって、とても楽しめた。
女性	40 歳代	南部地域	一人ひとりが大切にされ、生きがいを持って地域活動に参加できるまちづくりを推進してほしい。
男性	30 歳代	中部地域	伊奈町に昔から住んでいる人と、最近引っ越してきた人との間で温度差を感じる。年齢差もあると思うが、自治会などに参加していると「考え方が古い」と感じることも多い。しかし、年長者に意見できるような雰囲気でもない。もっとオープンで明るいまちになってほしい。
男性	30 歳代	北部地域	若い世代の家族が多く住んでいるので、非常に可能性を感じる。その世代がまちづくりに参加できるような取り組みがあれば、強いコミュニティになるのではないかな。
女性	40 歳代	南部地域	同じ伊奈町であっても、南、中、北部で関わり合えるようなことがとても少なく感じる。町民同士が集まれるような機会、施設、交通の整備などが、今後のまちづくりにとって大切だと思う。

⑧ 町政について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	60 歳代	南部地域	最近では、役場での町民への対応が丁寧になって、大変良いことだと思う。町民の意見をよく聞き、良い意見に対しては考慮して、答えてほしい。
女性	70 歳代以上	中部地域	町民に対する要望だけではなく、役場内の横の連携をもう少しスムーズにし、関係性のある事柄は共有できるようにしてほしい。
男性	40 歳代	北部地域	子育て世代の意見をもっと積極的に取り入れ、女性や高齢者の視点も大切にするべき。そのためには、このようなアンケートなどで意見を待っているようではだめだ。世間話でも、自分から話を聞きに行く姿勢が必要。ぜひ子育て中の母親や高齢者の声を聞きに行ってほしい。
男性	20 歳代	北部地域	新しい取り組みを色々と実施してくれていることはありがたいが、新規事業を行う際の現場へのしわ寄せ、昔からある会議や話し合いなどの振り返りのない踏襲には、無駄が多いように感じる。本当に必要なものと、まちの財力、人材を正しく見極め、より良いパフォーマンスになるようにしてほしい。特に人材管理の責任者には自覚してほしい。現場の声や、地域の方との次年度へ向けた振り返りは必要だ。
男性	60 歳代	北部地域	情報が少ない。
女性	60 歳代	南部地域	大変な時代なので、税金を安く、できるだけ予算を使わないまちに。

⑨ その他

性別	年代	居住地域	ご意見
男性	20 歳代	南部地域	伊奈町の一部だけでなく、全体が発展するようにしてほしい。
男性	70 歳代以上	中部地域	市になることは町の利益につながる重要な役割を果たす。何としても市になるように人口増加などに努めてほしい。
男性	30 歳代	北部地域	今後、伊奈町は市政に向けた準備を進めるべきだと思う。人口増加にブレーキがかかりつつある今、観光・交通・医療・福祉など、町の弱点を洗い出し、発展のための基盤整備を加速させる必要があると思う。そのための会議出席やモニターなど、協力できることはしたい。
女性	30 歳代	北部地域	伊奈町に住んで5年も経っていない。自分も勉強不足だとは思いますが、住み始めて数年の人に、「どんな方向に向かうのか」といきなりアンケートで聞くのではなく、「伊奈町にはこんな特徴がある」「こんな方向性だ」とアピールしてからアンケートをとってほしい。
男性	40 歳代	北部地域	上尾市との合併推進。
女性	60 歳代	南部地域	平凡なところが伊奈町の良いところだと思う。

2 協働に対するお考えについて

(1)分野別の分類

今回の住民意識調査の中で、協働に対する考えについて 130 人の方から延べ 148 件のご意見をいただきました。分野ごとに分類すると以下ようになります。

分野	件数
① 協働への考え方について	48 件
② 交流活動について	7 件
③ ボランティアについて	12 件
④ 防災活動について	5 件
⑤ 見守り・防犯活動について	8 件
⑥ 情報について	9 件
⑦ 行政の役割について	29 件
⑧ その他	30 件
合計	148 件

(2)自由回答の抜粋

以下、分野ごとに、いくつかご意見をご紹介します。

① 協働への考え方について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	70 歳代以上	北部地域	町と住民が協力して活動することは、とても良いことだと思う。できれば参加したい。
女性	20 歳代	北部地域	とても大切で難しいことだと思う。色々な人が住んでいて、色々な考えや思いがある。何を優先させるのかを決めなくてはいけないと思う。しかし、そこが一番大変。一人ひとりが住んでいるまちに愛着が持てるようになるといいと思う。
男性	30 歳代	南部地域	高齢者が増え、若年世代が少なくなっている時代なので、高齢者が中心になって、そこにみんなが協力していくようなかたちがとれれば参加しやすくなるのではないかな。
女性	30 歳代	北部地域	夫婦共働きで子育てしている現状では、協働できることとできないことがある。退職（定年など）して、体力的に問題がなければ参加できると思う。
女性	30 歳代	中部地域	本来なら、町民全員で関わっていかなければならないことだと思うが、子育てや仕事などで、実際は難しいと思う。

② 交流活動について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	40 歳代	中部地域	祭りなどの行事を通して、近隣住民との結束を深めることで、地域防犯や孤立を防げると思うので、これからも関わっていききたい。
男性	30 歳代	南部地域	住民のまちづくり活動は、子どもを通じて参加することが最も効率的だと思う。そのためには、若い世代が住みたくなるようなまちをつくり、親子参加型の協働活動やイベントの実施することなどが考えられる。
女性	30 歳代	北部地域	スポーツする場、イベントやコミュニティーがとても少ない。上尾や北本を利用している。
男性	70 歳代以上	中部地域	自分の趣味を生かして、手芸や昔遊びなどをみんなでやり、ふれあっていききたい。

③ ボランティアについて

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	40 歳代	中部地域	ボランティアとして活動したいと考える人が、気軽に参加できるような組織や機会があれば良いと思う。
女性	40 歳代	南部地域	スポーツボランティア、生涯学習ボランティアを育成しながら、町と町民の協働システムをつくってほしい。
女性	30 歳代	北部地域	川や道路の清掃活動をもっと盛んに、規模も大きくして、まちの自然を大事にしてほしい。
男性	50 歳代	北部地域	不景気で、子育て世代は自分や自分の家族を守ることで精いっぱいだと思うので、退職後の人を中心としたボランティア組織があれば良いのではないかと。しかし完全なボランティア（無償）では長く続かないと思うので、町で発行したクーポンなどで還元してはどうか。

④ 防災活動について

性別	年代	居住地	ご意見
男性	70 歳代 以上	北部 地域	地震対策として、年に 3 回ほど、地域での避難訓練（学校に逃げる練習など）をすれば良いと思う。
男性	40 歳代	北部 地域	ソフト防災・ハード防災に取り組んでほしい。 ・特技などを登録する「町内チャンピオンマップ」で看護師資格や子守りなどについて登録 ・「ひと声かけてください」登録。災害時にひと声かけてほしい高齢者などの災害弱者が事前に登録 ・炊き出し訓練会。催しの際に、短時間で大量の食事を賄う。催しも盛り上がる ・あいさつ運動、小さな親切運動 ・応急手当や救命救急の訓練。市民救命士の資格取得 ・災害紙上訓練
女性	30 歳代	北部 地域	防犯や防災面では、地域のつながりや日々の取り組みがいざという時に役に立つ。県が飯能市と合同で実施した「シェイクアウト訓練」のような取り組みに参加することも、防災に対する意識を常日ごろから身に付けておくために有効だと思う。

⑤ 見守り・防犯活動について

性別	年代	居住地	ご意見
女性	70 歳代 以上	中部 地域	これからのまちづくりにとって重要な課題。防犯、防災、子育てや高齢者の見守り、助け合いなどは、両者の協働によって充実したものになる。
男性	40 歳代	北部 地域	防犯パトロールはとても有意義だと思う。年配の方が子どもたちとも交流できるし、外出する機会が増える。さらには子どもの安全が守られて、いいことづくしだと思う。
男性	70 歳代 以上	南部 地域	県内でも、高齢者世帯や独居の孤独死が発生していて、そのたびになぜ防げなかったのか疑問に思っている。孤独死を防ぐことはもとより、高齢化社会の安心・安全を構築するため、地域見守り隊やパトロール隊、福祉ネットワークづくりなどの堅実かつ実行力のある協働事業を推進してほしい。

⑥ 情報について

性別	年代	居住地	ご意見
男性	20 歳代	南部 地域	町民への情報発信は、本当に行き届いているのか疑問だ 何をもって協働なのかという、軸になる指針をしっかりと発信、提示してほしい。
女性	60 歳代	南部 地域	65 才以上の人口が増えてくる。自分たちにもできることを、わかりやすく教えてほしい。
男性	50 歳代	中部 地域	自分だけでは、何が・いつ・どこで・どのように行われているのか、情報収集に限りがある。

⑦ 行政の役割について

性別	年代	居住地域	ご意見
男性	70 歳代 以上	北部 地域	協働の概念は理解するが、まずは行政がやるべきことをやる町と住民の協力関係の構築や継続にコーディネーターが必要だとは思いますが、この役割を町の職員が積極的に担うことが大切。住民任せにしない。
男性	60 歳代	中部 地域	協働は大切なことだが、町が、住民とともに活動できる具体策を掲げて話し合うのが良いのではないかと。
女性	30 歳代	北部 地域	このようなアンケートで町に意見ができて良かった。今後もアンケートの実施やその結果報告によって、伊奈町が住みやすくなると良いと思う。
男性	40 歳代	北部 地域	協働のためには、地元を愛する気持ちが肝心だと思う。町に対しては、郷土愛をはぐくむ様々な取り組みをつくってほしい。職員には、住民に伊奈町をもっと好きになってほしいという気持ちをアピールしてほしい。

⑧ その他

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	70 歳代 以上	中部 地域	生涯学習、健康づくり、サークル活動などの場としてふさわしい施設が不足していると思う。保育、学校施設の建設などを優先しなければならないこともわかるが、あえて要望したい。
男性	50 歳代	北部 地域	今後の少子高齢化社会では、町と住民が協力することは当然だと思う。他の市区町村でも成功しているモデルケースもあるので、参考にすればよいと思う。
男性	60 歳代	北部 地域	地域の公園管理は、区または自治会に委託してはどうか。
男性	30 歳代	北部 地域	古き良き時代の近隣との付き合い方のできるまちづくりをしてほしい。近所の人も知らないようなまちづくりでは、助け合えない。
女性	40 歳代	中部 地域	ゴミ捨て場がいつも汚いので、掃除した方が良いと思う。前に住んでいたところは掃除当番もあったのできれいだった。

IV 総評

1 定住意向

今後定住を希望する回答は8割弱となっており、前回調査時より住環境への評価は高くなっています。しかし、住み続けたいと回答した年代は60歳代、70歳代以上が特に多く、また、住み続けたい理由として自分の家や土地があることが7割を超えています。また、20歳代では持家率が他の世代に比べて低く、定住を希望する回答が5割弱となっています。

2 都市基盤

都市基盤については、「国道や県道など幹線道路の通行のしやすさ」や「歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ」など道路環境の満足度が低く、自由回答では、通学路など歩行者の安全を確保した道路の整備が必要であるという意見が挙げられています。また、生活環境の整備の中でも「身近な道路の整備」が特に重要であると考えられています。

さらに、「鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ」についても満足度が低く、自由回答では、バスやニューシャトルの利用しやすさの向上を求める意見が多く挙げられています。

今後は道路・交通の整備により住民がより外に出歩き、安全に移動しやすい環境をつくることが望まれています。

3 自然環境

自然環境については、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静けさ」に対する満足度は高く、町の将来像についても「自然が豊かなまち」が4割強と最も高くなっています。また、自由回答では、宅地化により自然が減少していることを懸念する意見が挙げられています。

今後は自然環境に配慮して住環境を整備していくとともに自然環境を伊奈の魅力の一つとしてPRしていくことが望まれています。

4 医療・福祉

医療・福祉については、町の将来像では「病院など医療機関が充実したまち」が4割弱と高くなっているほか、自由回答では眼科、耳鼻科、皮膚科などの医療機関を増やしてほしいという意見が多く挙げられています。

また、20歳代、30歳代から保育所の充実など子育て支援の充実を望む意見が挙げられている一方で、人口増加により今後高齢化が進行していくことから、高齢者福祉対策の充実を望む意見も挙げられています。

さらに、重要と考える「安心・安全」の取り組みについては、「医療の安心・安全」と「子どもの安心・安全」が5割強、「高齢者の安心・安全」が4割半ばとなっており、今後は医療機関を充実していくとともに、児童福祉・高齢者福祉をバランスよく推進していくことが望まれています。

5 産業

産業については、特に農業の振興と商業の振興を重点的に行うべきであると考えられています。

農業については、将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性として「綾瀬川沿いに広がる田園風景」や「梨などの果樹園」が2割強となっています。また、自由回答では、宅地化によって農地が減少していることが懸念する意見も挙げられています。

商業については、「商業施設の充実など買い物の便利さ」の満足度は前回の結果より低くなっており、町の発展基盤の整備の中では、「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が最も高くなっています。また、自由回答では、今後定住を促進していくべき20歳代、30歳代では、買い物の便利さを求める意見が多く挙げられており、今後、商業施設を充実させ、より住環境を向上させることが望まれています。

6 協働

協働については、「地域の道路、街路樹の管理」や「町内会・自治会・子ども会などの地域活動」については、すでに参加している方が多くなっています。また、年代別にみると、若い世代では参加の意思がある方の中でも、「今後は参加・協力したい」と回答した方の割合が高くなっています。さらに、参加・協力したいが仕事や家事などでできないという意見が多く挙げられており、今後は若い世代や、仕事や家事がある方でも参加しやすい地域活動が望まれています。

7 行政運営

行政運営については、町民の意見・要望の反映の満足度が低くなっています。今後、町民の意見を町政に反映させるために、町民説明会やアンケートなど、町民が参加できる機会の創出が求められています。

また、町に関する情報の入手先については、広報「いな」が8割半ば、自治会などの回覧が5割弱となっています。また、20歳代で特に情報を得ていない割合が高くなっており、今後ホームページなど様々な手段で情報が入手できることが望まれています。

調査票

伊奈町の(仮称)総合振興計画策定に関するアンケート調査

ご協力のおねがい

町民の皆さまには、日頃から町政にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
本町では現在、平成27年度(2015年度)からはじまる伊奈町の(仮称)総合振興計画の策定を進めるため、まちづくりの方針を示すこの計画に、町民の皆さまのご意見を反映していきたいと考えております。

そこで、町民の皆さまが町の現状に対してどのような感じになっているのか、また、これからのまちづくりに関してどのようなお考えをお持ちなのかを把握するため、伊奈町にお住まいの20歳以上の方、1,500名を無作為に選ばせていただき(平成24年7月1日現在)、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査の結果は統計的に処理し、調査目的以外には利用しませんので、回答者の方々にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成24年 8月

伊奈町長 野川 和 好



- ▶ 宛名のご本人がお答えください。
- ▶ お答えは、あてはまる回答の番号に「○」をつけてください。
また、「その他」をお選びになった場合は、その後ろにある() の中に内容を
ご記入ください。
- ▶ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
9月18日(火)までにポストに投函またはご持参ください。
(返信用封筒には、切手を貼ったり、差出人の名前を書く必要はありません)
- ▶ この調査につきまして、ご不明な点などございましたら下記へお問い合わせください。

伊奈町役場 企画課 政策企画担当
電話：048(721)2111<代表>
FAX：048(721)2136

☐ あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 20歳代 4. 50歳代
2. 30歳代 5. 60歳代
3. 40歳代 6. 70歳代以上

問3 あなたの職業はどれにあたりますか。※兼業の方は主な職業を選んでください。(○は1つ)

1. 自営業(農業) 6. ハート・アルバイト
2. 自営業(商工・サービス業) 7. 主婦(夫)
3. 会社員 8. 学生(専門学校含む)
4. 自由業(医師、弁護士など) 9. 無職
5. 公務員・教員(団体職員など) 10. その他()

問4 あなたの通勤先または通学先はどこですか。(○は1つ)

1. 自宅 5. その他埼玉県内
2. 伊奈町内 6. 東京都
3. さいたま市 7. その他()
4. 近隣市(上尾市、桶川市、蓮田市)

問5 あなたの住んでいる地域はどこですか。(○は1つ)

1. 北部地域(大針、羽根、小針新居、細田山、光ヶ丘区)
2. 中部地域(小自戸、志久、本(北・南)、柴中萩、若根、中央区)
3. 南部地域(栄(北・中央・南)、丸山、下郷、綾瀬(東・南・北)区)

問6 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 単身(ひとり暮らし) 5. 夫婦と子どもと親で住んでいる
2. 夫婦で住んでいる 6. 母子又は父子で住んでいる
3. 夫婦と子どもで住んでいる 7. 兄弟や友人と同居している
4. 夫婦と親で住んでいる 8. その他()

 あなたの暮らしを取り巻く環境についておたずねします。

問 15 日常生活を送る上で、あなたは次の項目について日ごろどのように感じていますか。
(それぞれ「1」～「5」の中から○は1つ)

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
(例) ①自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ	5	④	3	2	1
I. 住みやすさ					
① 自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ	5	4	3	2	1
② 身近に遊べる公園や広場の利用しやすさ	5	4	3	2	1
③ 身近な川のきれいさ	5	4	3	2	1
④ 就学前の子育て環境	5	4	3	2	1
⑤ 小中学校の教育環境	5	4	3	2	1
⑥ 子どもの健全育成を地域で守ることへの安心感	5	4	3	2	1
⑦ 高齢で介護が必要になっても安心できる暮らしやすさ	5	4	3	2	1
⑧ 地震や水害など災害に対する安心感	5	4	3	2	1
⑨ 大気汚染や水質汚濁など公害に対する安心感	5	4	3	2	1
⑩ 工場の騒音などに対する安心感	5	4	3	2	1
⑪ 防犯灯の設置や体制整備など防犯に対する安心感	5	4	3	2	1
⑫ 病院や保健センター、老人福祉センターなど福祉・保健・医療施設の利用しやすさ	5	4	3	2	1
⑬ 消防・救急活動に対する安心感	5	4	3	2	1
⑭ 通勤・通学の便利さ	5	4	3	2	1
⑮ し尿やゴミ収集処理体制	5	4	3	2	1

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
II. 賑やかさ					
① 商業施設の充実など買い物の便利さ	5	4	3	2	1
② 働く場所の多さ	5	4	3	2	1
③ スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ	5	4	3	2	1
④ 娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ	5	4	3	2	1
⑤ イベントなど人と情報が交流する機会の多さ	5	4	3	2	1
III. 豊かさ					
① 寺社や史跡などの歴史的資源の観しやすさ	5	4	3	2	1
② 文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ	5	4	3	2	1
③ 伊奈町の歴史物を購入する機会の多さ	5	4	3	2	1
④ 高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ	5	4	3	2	1
⑤ 生涯学習の取り組みやすさ	5	4	3	2	1
IV. 快適さ					
① 宅地・農地・商工業地のバランスの取れた土地利用	5	4	3	2	1
② 国道や県道など幹線道路の通行のしやすさ	5	4	3	2	1
③ 歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ	5	4	3	2	1
④ 駐車場や駐輪場の利用しやすさ	5	4	3	2	1
⑤ 鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ	5	4	3	2	1
⑥ 下水道や生活排水施設の整備状況	5	4	3	2	1
⑦ 気軽に利用できるコミュニティ施設の多さ	5	4	3	2	1
V. 町政について					
① 公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ	5	4	3	2	1
② 窓口・電話口での職員への対応の良さ	5	4	3	2	1
③ 広報「いな」の内容の良さ、使いやすさ	5	4	3	2	1
④ 町の公式ホームページの内容の良さ、使いやすさ	5	4	3	2	1
⑤ 町民の意見・要望の反映	5	4	3	2	1

 伊奈町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします。

問 16 伊奈町ではこれまで、「安心・安全」をキーワードにまちづくりを進めてきました。今後、次の「安心・安全」のうち、特にどれが重要であると考えていますか。(○は3つまで)

1. 子どもの安心・安全	7. 公害・汚染からの安心・安全
2. 高齢者の安心・安全	8. 災害からの安心・安全
3. 障がい者の安心・安全	9. 犯罪・交通事故からの安心・安全
4. 医療の安心・安全	10. その他 ()
5. 食の安心・安全	11. 特 に ない
6. 雇用の安心・安全	

問 17 あなたは将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性は何だと思いますか。

(○は3つまで)

1. 集落に広がる屋敷林、平地林
2. 梨などの果樹園
3. 綾瀬川、原市沼川
4. 綾瀬川沿いに広がる田園風景
5. 町制施行記念公園 (ハナ公園)
6. 新交通システム (ニューシャトル)
7. 県民活動総合センターなどの広域文化施設
8. 県立がんセンターなどの広域医療施設
9. 伊奈学園総合高等学校などの高校または専門学校・大学施設
10. 伊奈氏屋敷跡や陣子堀などの文化財
11. 地域に受け継がれている祭りばやしなどの伝統芸能
12. コミュニティのつながり
13. 町の個性がない
14. その他 ()

問 18 今後、伊奈町には、どのようなまちになってほしいですか。(○は3つまで)

1. 自然が豊かなまち	11. バスなど公共交通機関が充実したまち
2. 農業が盛んなまち	12. 買い物に便利なまち
3. スポーツが盛んなまち	13. 文化・芸術活動が盛んなまち
4. 商業が盛んなまち	14. 学校教育が充実したまち
5. 工業が盛んなまち	15. 福祉 (高齢者・障がい者など) が充実したまち
6. 観光が盛んなまち	16. 子育てがしやすいまち
7. 子ども・女性・高齢者などの人権を尊重したまち	17. 災害に強いまち
8. 国際交流が盛んなまち	18. 犯罪がおこらないまち
9. 健康づくりが盛んなまち	19. わからない
10. 病院など医療機関が充実したまち	20. その他 ()

問 19 伊奈町のこれからのまちづくりの中で何を重点的に整備していくことが望めますか。

(それぞれ○は1つ)

(1) 町の発展基盤の整備

1. 農業基盤の整備
2. 駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備
3. 工業などの産業団地の整備
4. 観光拠点の整備
5. 新たな住宅街の整備
6. 既存住宅地の居住環境の改善
7. 市民の交流の場となる地域の拠点の整備
8. 幹線道路 (町内で骨格を成す道路) の整備
9. 街並みなどの景観の整備
10. その他 ()

(2) 生活環境の整備

1. 身近な道路の整備
2. 公共下水道及び集落排水事業の整備
3. 住宅及び住宅地の供給確保
4. ごみの減量化・再資源化の促進
5. 公園・緑地の整備
6. 公害防止対策
7. 地域防災対策
8. 交通安全対策
9. その他 ()

(3) 福祉と健康の増進

1. 健康診断や健康相談などの保健活動の充実

2. 病院や医療など医療施設の整備

3. 高齢者福祉対策の充実

4. 児童福祉対策の充実

5. 母子福祉・父子家庭への援助

6. 心身障がい者（児）福祉の充実

7. 低所得者福祉の充実

8. ボランティアの育成・充実

9. その他（ ）

(4) 教育・文化の向上

1. 特色ある学校教育の充実

2. 生涯学習の推進と施設の充実

3. 国際交流の推進

4. 文化施設（図書館など）の整備

5. スポーツ・レクリエーション施設の整備

6. 芸術文化活動の推進

7. 人権教育の推進

8. その他（ ）

(5) 地域産業の振興

1. 農業の振興

2. 商業の振興

3. 工業の振興

4. 観光の振興

5. その他（ ）

(6) 特に重点的に進めらるべき部門

1. 町の発展基盤の整備

2. 生活環境の整備

3. 福祉と健康の増進

4. 教育・文化の向上

5. 地域産業の振興

6. 町民との協働によるまちづくり

7. 効率的な行政運営の推進

8. その他（ ）



まちづくりへの参加と協力についておたずねします。

問 20 あなたは現在、地域でどのようなおつきあいをしていますか。（○は3つまで）

1. あいさつを交わす程度のつきあい

2. 趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい

3. 町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい

4. 地域での問題について相談したり協力したりするつきあい

5. 子育てや高齢者のお世話などで助け合えるつきあい

6. 学校の行事・活動などを通じてのつきあい

7. 近所の人とはあまりつきあわない

8. その他（ ）

9. わからない

問 21 あなたは、町の行事や行政サービスの情報を何から得ていますか。（○はいくつでも）

1. 広報「いな」

2. 町の公式ホームページ

3. 町の窓口や電話での問い合わせ

4. 議会だより

5. 町が発行するパンフレット類

6. 公民館などの公共施設

7. 自治会などの回覧

8. 家族や知人

9. 特に情報は得ていない

10. その他（ ）

問 22 町政への参加について、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。（○は1つ）

1. 町民の自主的な集まりがあれば参加したい

2. 座談会や懇談会があれば参加したい

3. 町政モニターとして意見を述べたい

4. 町の各種計画の特定委員会などまちづくりに関する会議に参加したい

5. 学習・スポーツ、コミュニティなどの施設の運営・管理に参加したい

6. 陳情・請願などにより意見を述べたい

7. パブリックコメントなどにより意見を述べたい

8. アンケート調査で充分である

9. 議員や町・専門家にまかせる

10. 関心がない

11. その他（ ）

12. わからない

今後の伊奈町のまちづくりについて、あなたのご意見、ご提案やご要望などございましたら、ご自由に記入ください。

1. 今後の伊奈町のまちづくりに対するお考えについて

2. 協働（町と住民が協力してまちづくり活動に取り組むこと）に対するお考えについて

3. その他

◆アンケート調査は以上で終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

伊奈町総合振興計画策定に係る
町民意識調査結果報告書

発 行 平成25年3月
企画・編集 伊奈町役場 企画課 政策企画担当
〒362-8517
埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 9493
電 話 048(721)2111 〈代表〉
FAX 048(721)2136
URL <http://www.town.saitama-ina.lg.jp/>